令和２年第１回（３月）上越市議会定例会

総務常任委員会資料

案件番号	案件名	提出課	ページ
議案第１３号	令和元年度上越市一般会計補正予算（第６号）	交通政策課ほか	1～7
議案第２８号	上越市定住促進奨学金貸付条例の一部改正について	企画政策課	8
議案第２９号	高田城三重櫓（やぐら）条例の一部改正について	文化振興課	9
議案第５１号	工事請負契約の締結について	契約検査課 文化振興課	10～11
議案第１号	令和２年度上越市一般会計予算	企画政策課ほか	12～45

企画政策部

予算案件における目標の記載について

全ての事業を義務的事業、経常的事業、政策的事業に分類し、下記のように整理して記載しています。

1　義務的事業…生活保護など扶助費全般や戸籍事務、国県事業等への負担など
- 法定受託事務など法令等の目的・趣旨と事業の目的と合致しており、市民に安定的にサービスを提供することが目標であるため記載しません。
- 市の政策としてサービスを付加する場合は記載しています。

2　経常的事業…財務会計事務、契約事務、庶務事務、施設の維持管理運営など
- 行政運営に必要不可欠な財務会計事務などの内部管理事務については、滞りなく実施することが目標であるため記載しません。
- 施設の維持管理運営は、適切な維持管理と運営により市民等が安全安心に利用できることが目標であるため記載しません。ただし、施設の付加価値を高めるための取組を実施し、入館者や利用者数、利用件数や実施件数などを設定できる場合は目標を記載しています。

3　政策的事業…上記以外の事業
- 全ての事業について目標を記載しています。

所管委員会	総務常任委員会
関係案件	議案第１３号
提出課	交通政策課

歳出科目（P88～P89）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事業名	補正前	補正額	補正後
並行在来線対策事業	72,828	△4,095	68,733

主な補正財源		主な経費	
市債 △2,700 一般財源 △1,395		負担金補助及び交付金 △4,095	

【補正理由】

北越急行安全輸送設備等整備事業補助金について、国の内示率の減及び入札による減額に伴い、協調補助で実施する補助金を減額するもの

【補正内容】

（歳入）

区分	補正前	補正額	補正後
市債	69,900	△2,700	67,200
並行在来線対策事業	69,900	△2,700	67,200

（歳出）

区分	補正前	補正額	補正後
負担金補助及び交付金	72,689	△4,095	68,594
北越急行安全輸送設備等整備事業補助金	9,546	△4,095	5,451

歳出科目（P88～P89）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　　業　　名	補正前	補正額	補正後
地域公共交通運行対策費	374,469	△22,939	351,530

主な補正財源		主な経費	
県支出金 △84 一般財源 △22,855		負担金補助及び交付金 △22,939	

【補正理由】

運賃収入が当初の見込みを上回ったほか、路線バス運行事業者の経費の減少や国のフィーダー補助の増加に伴い、市の補助対象経費が縮小したことから、バス運行対策費補助金を減額するもの

【補正内容】

（歳入）

区　分	補正前	補正額	補正後
県支出金	23,876	△84	23,792
生活交通確保対策補助金	23,876	△84	23,792

（歳出）

区　分	補正前	補正額	補正後
負担金補助及び交付金	370,246	△22,939	347,307
バス運行対策費補助金	370,246	△22,939	347,307

〈参考１〉令和元年度路線別バス運行対策費補助金一覧（決算見込額）

【国庫補助路線（地域間幹線系統）】

系統番号	路線名	起点～（主な経由地）～終点	運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
幹1	浜線	鵜の浜～柿崎病院前～柿崎バスターミナル	6.6	43,668.0	0.3	13,865,900	1,202,254
幹2	上越大通り線（1）	上越妙高駅前～市役所・労災病院前～鵜の浜	13.9	263,230.3	2.0	83,583,517	28,775,432
幹3	上越大通り線（3）	中央病院～上越妙高駅前～新井バスターミナル	10.9	129,510.1	2.2	41,123,342	16,653,790
幹4	直江津・浦川原線（1）	マルケーバスセンター～浦川原小学校前～浦川原バスターミナル	4.9	70,967.2	2.0	22,534,215	8,429,038
幹5	宮口線（1）	高田駅前～上牧～深山荘	5.0	73,344.1	2.2	21,191,310	7,487,642
幹6	宮口線（2）	高田駅前～中央病院～牧小学校前	5.0	48,153.4	1.7	13,912,961	4,413,414
6系統		小　計		628,873.1		196,211,245	66,961,570

【国庫補助路線（地域内フィーダー系統）】

系統番号	路線名	起点～（主な経由地）～終点	運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
F1	柿崎黒岩線（2）	柿崎バスターミナル～米山寺・下灰庭～黒岩	3.0	11,584.8	0.8	4,512,279	466,955
F2	安塚線	うらがわら駅前～虫川大杉駅前～保健センター前	9.0	29,799.0	1.3	6,958,066	3,273,351
F3	島田線	高田駅前～岡原～曽根田	5.0	46,051.8	1.0	13,304,365	2,533,963
F4	佐内・直江津循環線	佐内入口～労災病院前～直江津駅前	4.0	23,859.2	0.7	6,902,466	911,895
F5	真砂・岡田線	高田駅前～真砂寺前～北坪山上	4.0	27,332.4	1.1	7,896,330	1,514,337
F6	直江津・浦川原線（2）	保倉川橋～青野十文字～マルケーバスセンター	2.0	21,432.6	0.9	6,805,493	1,292,301
F7	大平線（1）	浦川原小学校前～虫川大杉駅前～大島コミュニティプラザ前	3.0	16,484.4	0.5	3,849,107	605,184
F8	大平線（2）	浦川原小学校前～虫川大杉駅前～小谷島	2.0	7,519.2	0.4	1,755,733	276,049
F9	吉川西部循環線（くびき駅経由	吉川区総合事務所前～くびき駅前～吉川区総合事務所前	4.0	19,236.5	1.7	7,492,616	1,133,268
F10	吉川西部循環線（上下浜駅経由	吉川区総合事務所前～上下浜駅前～吉川区総合事務所前	4.0	18,546.2	6.8	7,223,744	4,894,951
F11	青柳線（1）	高田駅前～中央病院・下稲塚～青柳	1.0	14,248.6	1.1	4,116,420	708,562
F12	青柳線（2）	高田駅前～中央病院・松野木～青柳	1.0	18,597.0	1.2	5,372,673	798,480
F13	岡沢ルート（予約運行便）	新井バスターミナル～中郷区総合事務所前～岡沢	4.0	－	－	6,828,648	721,770
F14	関山ルート（予約運行便）	新井バスターミナル～姫川原～コメリ前	3.0	－	－	5,344,580	591,300
F15	月影・下保倉・末広ルート（1）	谷～浦川原区中心部～うらがわら駅前	12.0	－	－	4,837,492	894,593
F16	月影・下保倉・末広ルート（2）	谷～浦川原区中心部～うらがわら駅前	1.0	－	－	235,853	9,071
F17	上柿野ルート	うらがわら駅前～上柿野～うらがわら駅前	2.0	－	－	104,317	9,668
F18	小麦平ルート	うらがわら駅前～小麦平～うらがわら駅前	2.0	－	－	108,574	22,974
F19	名立区自家用有償旅客運送（1）	うみてらす名立前～ろばた館前～東飛山	2.0	22,822.8	－	4,368,283	494,800
F20	名立区自家用有償旅客運送（2）	コミュニティプラザ前～ろばた館前～東飛山	5.0	37,398.1	－	7,157,996	521,400
F21	名立区自家用有償旅客運送（3）	コミュニティプラザ前～名立駅前～宝田小学校前	2.5	3,777.4	－	722,994	2,000
21系統		小　計		318,690.0		105,898,029	21,676,872

【県単補助路線】

系統番号	路線名	起点～（主な経由地）～終点	運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
県1	南川線（1）	労災病院前～市村～海洋センター前・聖城中学校前	5.0	35,168.0	1.6	10,174,102	3,725,660
県2	南川線（2）	労災病院前～島田～海洋センター前	5.1	42,734.0	2.0	12,362,946	5,107,059
県3	教育大学線（1）	中央病院～教育大学～直江津駅前	6.0	59,933.0	2.0	17,338,616	6,799,388
県4	春日山線（1）	直江津駅前～春日山下　～中央病院	4.0	40,920.8	2.0	11,838,387	4,923,106
県5	春日山線（2）	直江津駅前～春日山下　～悠久の里前	4.0	40,740.5	1.8	11,786,226	4,299,177
県6	富岡線	高田駅前～富岡～マルケーバスセンター	7.5	85,760.1	3.0	24,810,396	16,066,837
県7	能生線	能生案内所～名立車庫前～労災病院前	2.0	35,496.0	2.0	10,268,992	3,114,351
県8	水科・今保線	高田駅前～番町～杉林入口	4.0	23,606.7	1.6	6,819,975	1,431,846
県9	新井・板倉線（2）	新井バスターミナル～針～板倉コミュニティプラザ前	5.5	17,780.2	2.6	7,149,418	3,729,371
県10	山直海線（2）	柿崎バスターミナル～原之町～村屋	4.0	28,469.7	2.1	11,088,948	3,312,551
県11	犀潟駅線	海洋センター前～犀潟駅前～海洋センター前	3.5	19,063.1	2.3	7,425,077	2,859,347
県12	柳町線	海洋センター前～柳町～海洋センター前	3.0	10,724.8	1.7	4,177,309	1,643,517
12系統		小　計		440,396.9		135,240,392	57,012,210

【市単補助路線】

系統番号	路線名	起点～（主な経由地）～終点	運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
市1	山鱒線	直江津駅前～医療センター病院～上越妙高駅前	3.0	20,967.0	1.1	6,065,753	1,175,359
市2	謙信公大通り循環線	春日山駅前～上越総合病院～春日山駅前	6.0	23,265.6	1.0	6,730,738	1,393,936
市3	春日山駅・アルカディアシャトル便	春日山駅前～リージョンプラザ～上越総合病院	0.0	14,136.0	1.2	4,089,544	774,448
市4	謙信公大通り線	イトーヨーカドー前～国府新町～上越総合病院	1.5	2,664.9	1.3	770,955	297,931
市5	桑取線	労災病院前～有間川橋～くわどり湯ったり村	5.0	77,174.6	1.4	22,326,611	5,673,732
市6	青柳線（1）	高田駅前～下稲塚～青柳	3.0	27,334.5	1.1	7,896,937	1,650,952
市7	青柳線（2）	高田駅前～松野木～青柳	2.5	33,951.1	1.3	9,808,472	1,858,924
市8	浦川原線	高田駅前～番町～浦川原バスターミナル	5.0	76,115.2	1.3	21,989,681	5,286,016
市9	増田線（1）	高田駅前～横曽根～くびき駅前	3.0	27,474.0	0.9	7,937,238	1,329,457
市10	柴太線	新井バスターミナル～飛田～高田駅前	3.0	17,641.2	0.5	5,096,542	617,733
市11	正善寺線	大手町十字路・西城病院前～下正善寺～上正善寺	4.0	16,623.8	0.7	4,802,615	932,979
市12	青田線	高田駅前～中田原～青田	3.0	10,845.0	0.6	3,133,120	513,066
市13	稲立線	板倉中学校～稲立	6.5	15,113.8	0.3	6,077,258	473,277
市14	三針線	板倉コミュニティプラザ前～下稲塚～清里区総合事務所前	5.0	7,915.3	0.4	3,182,742	324,564
市15	泉谷・勝穂循環線（2）	原之町～平等寺～原之町	2.0	7,567.4	0.0	2,947,502	33,654
市16	くびき駅線	海洋センター前～くびき駅前～海洋センター前	3.5	21,641.8	1.0	8,429,481	1,100,619
市17	柿崎上直海線	柿崎バスターミナル～上直海～柿崎バスターミナル	2.0	157.0	1.3	61,151	11,388
市18	増田線（2）	柿崎バスターミナル～長峰～森本	4.0	19,062.2	0.2	7,424,726	250,329
市19	柿崎水野線	柿崎バスターミナル～米山寺～水野	3.0	9,579.3	0.3	3,731,137	229,962
市20	教育大学線（2）	バロー上越店前～教育大学～直江津駅前	2.5	28,003.9	1.6	8,101,528	2,558,745
市21	青柳線（3）	高田駅前～下稲塚～赤池	3.5	34,505.1	1.6	9,968,523	3,081,124
市22	山寺薬師線	板倉中学校～山寺薬師	7.0	27,392.3	0.4	11,014,443	948,978
市23	新井・板倉線（1）	けいなん総合病院～針～板倉コミュニティプラザ前	6.0	23,837.4	1.0	9,585,018	1,889,799
市24	柿崎黒岩線（1）	柿崎バスターミナル～米山寺～黒岩	3.0	9,545.1	0.3	3,717,816	198,303
市25	山直海線（1）	柿崎バスターミナル～村屋～尾神	5.0	49,957.5	1.5	19,458,446	3,960,224
市26	東西ルート	うらがわら駅前～浦川原区・大島区～大島コミュニティプラザ前	4.0	－	－	1,465,907	37,524
市27	岡沢ルート（定時運行）	新井バスターミナル～中郷区総合事務所前～岡沢	1.0	－	－	2,629,336	114,100
市28	関山ルート（定時運行）	新井バスターミナル～姫川原～コメリ前	0.5	－	－	1,170,416	166,900
市29	名立線（1）	労災病院前～うみてらす名立前～コミュニティプラザ前	3.0	39,530.4	0.5	11,436,144	1,294,546
市30	春日山・佐内線	佐内入口～春日山下～中央病院・悠久の里前	2.0	29,031.7	1.4	8,398,870	2,125,219
市31	直江津・浦川原線（3）	マルケーバスセンター～労災病院前～浦川原バスターミナル	2.0	20,436.8	1.3	6,489,297	1,503,748
市32	上関田線	板倉中学校～上関田	6.5	26,684.2	0.6	10,729,716	1,154,309
市33	泉谷・勝穂循環線（1）	原之町～後生寺～吉川小学校前	5.0	21,458.7	1.7	8,358,163	1,689,886
市34	黒井駅線	海洋センター前～黒井駅南口～海洋センター前	3.5	31,327.8	1.1	12,202,178	2,605,239
34系統		小　計		770,940.6		257,228,004	47,256,970

【合計】

		運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
73系統	合　計		2,158,900.6		694,677,670	192,907,622

【単位：円】

経常欠損	収支率	国庫補助対象経費	市単補助対象経費	国庫補助金 ① 国→事業者	県補助金 ② 県→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ④ 計	系統番号
12,663,646	8.6%	6,248,000	12,663,646	3,124,000	3,124,000	3,944,000	2,471,000	6,415,000	幹1
54,808,085	34.4%	38,748,000	54,808,085	19,374,000	19,374,000	16,060,000	0	16,060,000	幹2
24,469,552	40.4%	15,331,000	24,469,552	7,665,000	7,665,000	3,617,000	0	3,617,000	幹3
14,105,177	37.4%	10,508,000	14,105,177	5,254,000	0	0	8,851,000	8,851,000	幹4
13,703,668	35.3%	11,879,000	13,703,668	4,766,500	0	0	8,937,000	8,937,000	幹5
9,499,547	31.7%	6,259,000	9,499,547	3,129,500	0	0	6,370,000	6,370,000	幹6
129,249,675	34.1%	88,973,000	129,249,675	43,313,000	30,163,000	23,621,000	26,629,000	50,250,000	

経常欠損	収支率	国庫補助対象経費	市単補助対象経費	国庫補助金 ① 国→事業者	県補助金 ② 県→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ④ 計	系統番号
4,045,324	10.3%	3,435,000	4,045,324	1,571,000	0	0	2,474,000	2,474,000	F1
3,684,715	47.0%	3,686,000	3,684,715	1,685,000	0	0	1,999,000	1,999,000	F2
10,770,402	19.0%	10,771,000	10,770,402	4,924,000	0	0	5,846,000	5,846,000	F3
5,990,571	13.2%	6,664,000	5,990,571	3,047,000	0	0	2,943,000	2,943,000	F4
6,381,993	19.1%	6,382,000	6,381,993	2,917,000	0	0	3,464,000	3,464,000	F5
5,513,192	18.9%	5,513,000	5,513,192	2,520,000	0	0	2,993,000	2,993,000	F6
3,243,923	15.7%	3,245,000	3,243,923	1,483,000	0	0	1,760,000	1,760,000	F7
1,479,684	15.7%	1,480,000	1,479,684	676,000	0	0	803,000	803,000	F8
6,359,348	15.1%	5,346,000	6,359,348	2,443,000	0	0	3,916,000	3,916,000	F9
2,328,793	67.7%	1,351,000	2,328,793	617,000	0	0	1,711,000	1,711,000	F10
3,407,858	17.2%	3,408,000	3,407,858	1,557,000	0	0	1,850,000	1,850,000	F11
4,574,193	14.8%	4,574,000	4,574,193	2,090,000	0	0	2,484,000	2,484,000	F12
6,106,878	10.5%	3,400,000	2,265,641	1,555,000	0	0	496,000	496,000	F13
4,753,280	11.0%	4,420,000	3,428,494	2,210,000	0	0	590,000	590,000	F14
3,942,899	18.4%	2,626,000	3,942,899	1,201,000	0	0	2,741,000	2,741,000	F15
226,782	3.8%	182,000	226,782	83,000	0	0	143,000	143,000	F16
94,649	9.2%	70,000	94,649	31,000	0	0	63,000	63,000	F17
85,600	21.1%	92,000	85,600	42,000	0	0	43,000	43,000	F18
3,873,483	11.3%	3,873,000	0	1,771,000	0	0	0	0	F19
6,636,596	7.2%	6,636,000	0	3,033,000	0	0	0	0	F20
720,994	0.2%	720,000	0	329,000	0	0	0	0	F21
84,221,157	20.4%	77,874,000	67,824,061	35,786,000	0	0	36,319,000	36,319,000	

経常欠損	収支率	県単補助対象経費	市単補助対象経費	国庫補助金 ① 国→事業者	県補助金 ③ 県→市→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ③+④	系統番号
6,448,442	36.6%	5,429,000	5,593,860	0	2,035,000	2,035,000	1,523,000	5,593,000	県1
7,255,887	41.3%	6,995,000	6,217,451	0	2,623,000	2,623,000	971,000	6,217,000	県2
10,539,228	39.2%	9,204,000	9,082,857	0	3,451,000	3,451,000	2,180,000	9,082,000	県3
6,915,281	41.5%	7,131,000	5,920,906	0	2,674,000	2,674,000	572,000	5,920,000	県4
7,487,049	36.4%	7,368,000	6,497,055	0	2,763,000	2,763,000	971,000	6,497,000	県5
8,743,559	64.7%	7,361,000	6,659,589	0	2,760,000	2,760,000	1,139,000	6,659,000	県6
7,154,641	30.3%	6,609,000	6,292,089	0	1,644,000	1,644,000	886,000	4,174,000	県7
5,388,129	20.9%	7,558,000	5,388,129	0	1,571,000	1,571,000	2,246,000	5,388,000	県8
3,420,047	52.1%	2,859,000	3,420,047	0	604,000	604,000	599,000	1,807,000	県9
7,776,397	29.8%	5,699,000	7,776,397	0	1,761,000	1,761,000	4,254,000	7,776,000	県10
4,565,730	38.5%	3,124,000	4,565,730	0	1,171,000	1,171,000	2,223,000	4,565,000	県11
2,533,792	39.3%	1,961,000	2,533,792	0	735,000	735,000	1,063,000	2,533,000	県12
78,228,182	42.1%	71,298,000	69,947,902	0	23,792,000	23,792,000	18,627,000	66,211,000	

経常欠損	収支率	県単補助対象経費	市単補助対象経費	国庫補助金 ① 国→事業者	県補助金 ③ 県→市→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ③+④	系統番号
4,890,394	19.3%	0	4,380,896	0	0	0	4,380,000	4,380,000	市1
5,336,802	20.7%	0	4,771,448	0	0	0	4,771,000	4,771,000	市2
3,315,096	18.9%	0	2,971,592	0	0	0	2,971,000	2,971,000	市3
473,024	38.6%	0	408,267	0	0	0	408,000	408,000	市4
16,652,879	25.4%	0	14,777,537	0	0	0	14,777,000	14,777,000	市5
6,245,985	20.9%	0	6,245,985	0	0	0	6,245,000	6,245,000	市6
7,949,548	18.9%	0	7,949,548	0	0	0	7,949,000	7,949,000	市7
16,703,665	24.0%	0	16,703,665	0	0	0	16,703,000	16,703,000	市8
6,607,781	16.7%	0	6,607,781	0	0	0	6,607,000	6,607,000	市9
4,478,809	12.1%	0	4,478,809	0	0	0	2,533,000	2,533,000	市10
3,869,636	19.4%	0	3,869,636	0	0	0	3,869,000	3,869,000	市11
2,620,054	16.3%	0	2,620,054	0	0	0	2,585,000	2,585,000	市12
5,603,981	7.7%	0	5,603,981	0	0	0	5,603,000	5,603,000	市13
2,858,178	10.1%	0	2,858,178	0	0	0	2,858,000	2,858,000	市14
2,913,848	1.1%	0	2,913,848	0	0	0	2,913,000	2,913,000	市15
7,328,862	13.0%	0	7,328,862	0	0	0	7,328,000	7,328,000	市16
49,763	18.6%	0	49,763	0	0	0	49,000	49,000	市17
7,174,397	3.3%	0	7,174,397	0	0	0	7,174,000	7,174,000	市18
3,501,175	6.1%	0	3,501,175	0	0	0	3,501,000	3,501,000	市19
5,542,783	31.5%	0	4,862,288	0	0	0	4,862,000	4,862,000	市20
6,887,399	30.9%	0	6,887,399	0	0	0	6,887,000	6,887,000	市21
10,065,465	8.6%	0	10,065,465	0	0	0	10,065,000	10,065,000	市22
7,695,219	19.7%	0	7,695,219	0	0	0	3,475,000	3,475,000	市23
3,519,513	5.3%	0	3,519,513	0	0	0	3,519,000	3,519,000	市24
15,498,222	20.3%	0	15,498,222	0	0	0	15,498,000	15,498,000	市25
1,428,383	2.5%	0	1,428,383	0	0	0	1,428,000	1,428,000	市26
2,515,236	4.3%	0	1,036,187	0	0	0	724,000	724,000	市27
1,003,516	14.2%	0	713,400	0	0	0	345,000	345,000	市28
10,141,598	11.3%	0	9,181,010	0	0	0	9,181,000	9,181,000	市29
6,273,651	25.3%	0	5,568,181	0	0	0	5,568,000	5,568,000	市30
4,985,549	23.1%	0	3,912,004	0	0	0	3,912,000	3,912,000	市31
9,575,407	10.7%	0	9,575,407	0	0	0	9,575,000	9,575,000	市32
6,668,277	20.2%	0	6,668,277	0	0	0	6,668,000	6,668,000	市33
9,596,939	21.3%	0	9,596,939	0	0	0	9,596,000	9,596,000	市34
209,971,034	18.3%	0	201,423,316	0	0	0	194,527,000	194,527,000	

経常欠損	収支率	国庫・県単補助対象経費	市単補助対象経費	国・県補助金①+② 国・県→事業者	県補助金 ③ 県→市→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ③+④	
501,670,048	27.7%	238,145,000	468,444,954	109,261,000	23,792,000	47,413,000	276,102,000	347,307,000	

提　出　課	文化振興課

歳出科目（P88～P91）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	補正前	補正額	補正後
歴史的建造物等整備支援事業	19,012	△10,396	8,616

主な補正財源		主な経費	
財産収入	20	負担金補助及び交付金	△10,531
寄附金	115	積立金	135
繰入金	△10,531		

【補正理由】

歴史的建造物等整備支援事業補助金の交付見込みにあわせて減額するほか、財源である歴史的建造物等整備支援基金の利子及び寄附金が当初見込みを上回ることから、積立金を増額するもの

【補正内容】

（歳入）

区分		補正前	補正額	補正後
財産収入	歴史的建造物等整備支援基金利子	4	20	24
寄附金	歴史的建造物等整備支援事業寄附金	20	115	135
繰入金	歴史的建造物等整備支援基金繰入金	18,900	△10,531	8,369
一般財源		88	0	88
合　計		19,012	△10,396	8,616

（歳出）

区分		補正前	補正額	補正後
報償費	報償金	50	0	50
旅費	費用弁償	24	0	24
	普通旅費	13	0	13
負担金補助及び交付金	歴史的建造物等整備支援事業補助金	18,900	△10,531	8,369
積立金	歴史的建造物等整備支援基金積立金	25	135	160
合　計		19,012	△10,396	8,616

提　出　課	企画政策課

歳出科目（P90～P91）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	補正前	補正額	補正後
定住促進奨学金貸付事業	8	743	751

主な補正財源		主な経費	
一般財源	743	繰出金	743

【補正理由】

上越市定住促進奨学金貸付条例第15条第3号の規定に基づき、返還期間中に本市に居住し、事業所等に就業している場合は、奨学金（通学費）返還額の3分の2に相当する額を免除することから、免除により生じる2億円の定額運用基金の不足額を基金へ繰り出すもの

【補正内容】

区　分	補正前	補正額	補正後
需用費	8	0	8
繰出金	0	743	743
定住促進奨学基金繰出金	0	743	743
合　計	8	743	751

・令和元年度利用状況（令和2年3月末見込）

区分	貸付	貸付休止	返還	うち免除	返還猶予	その他	計
人数	31人	2人	25人	21人	1人	4人	63人

区分	貸付額	返還額	返還免除額	年度末貸付残高
金額	6,837	669	743	19,861

提　出　課	文化振興課

歳出科目（P90～P91）	2款1項21目	文化振興費

単位：千円

事　業　名	補正前	補正額	補正後
文化振興企画費	24,246	△7,910	16,336

主な補正財源		主な経費	
諸収入 △993 一般財源 △6,917		負担金補助及び交付金 △7,910	

【補正理由】

第34回国民文化祭・にいがた2019、第19回全国障害者芸術・文化祭にいがた大会について、上越市主催事業の「市民創作音楽劇『くびき野の歌』」の事業費の確定にあわせて、一般財団法人地域創造の地域の文化・芸術活動支援事業助成金を減額するとともに、台風19号の影響により、「太鼓の祭典」が中止となったこと等に伴い、当初の見込みを下回った上越市実行委員会への負担金を減額するもの

【補正内容】

（歳入）

区　分		補正前	補正額	補正後
諸収入	地域の文化・芸術活動支援事業助成金	5,500	△993	4,507
一般財源		18,746	△6,917	11,829
合　計		24,246	△7,910	16,336

（歳出）

区　分	補正前	補正額	補正後
報酬	1,272	0	1,272
共済費	213	0	213
報償費	50	0	50
旅費	116	0	116
需用費	814	0	814
役務費	39	0	39
使用料及び賃借料	647	0	647
負担金補助及び交付金	21,069	△7,910	13,159
公課費	26	0	26
合　計	24,246	△7,910	16,336

所管委員会	総務常任委員会
関係案件	議案第２８号
提出課	企画政策課

上越市定住促進奨学金貸付条例の一部改正について

１　改正理由

奨学金の利用実態等を踏まえた上で制度の見直しを行うこととし、貸付限度額を引き上げるとともに、返還期間を延長して返還時の負担を軽減するもの

２　改正内容

⑴　奨学金の貸付限度額を１月当たり５万円から１月当たり６万円とする。（第４条関係）

⑵　奨学金の返還期間を４年以上８年以内から４年以上１６年以内とする。（第１２条関係）

⑶　⑴の改正は、令和２年４月１日以後の使用に係る定期券の購入費用について適用し、同日前の使用に係る定期券の購入費用については、なお従前の例による。（附則第２項関係）

⑷　⑵の改正は、令和２年４月１日前において現に奨学金の貸付けを受けている者についても適用する。（附則第３項関係）

３　施行期日

令和２年４月１日

４　上越市定住促進奨学金貸付条例改正案新旧対照表

（下線部分が改正箇所）

改正案	改正前
（奨学金の額） 第４条　奨学金の貸付額は、通学に要する定期券の購入費の合計額<u>の範囲内の額</u>とし、１月当たり<u>６万円</u>を限度とする。 （奨学金の返還） 第１２条　奨学生が次の各号のいずれかに該当するときは、奨学金の貸付けが終了した月の翌月から起算して６月を経過した後、４年以上<u>１６年</u>以内で市長が定める年数以内に年賦、月賦又は半年賦の方法により返還しなければならない。ただし、奨学金は、いつでも繰り上げて返還することができる。 ⑴～⑷　略	（奨学金の額） 第４条　奨学金の貸付額は、通学に要する定期券の購入費の合計額<u>＿＿＿＿＿＿</u>とし、１月当たり<u>５万円</u>を限度とする。 （奨学金の返還） 第１２条　奨学生が次の各号のいずれかに該当するときは、奨学金の貸付けが終了した月の翌月から起算して６月を経過した後、４年以上<u>８年</u>以内で市長が定める年数以内に年賦、月賦又は半年賦の方法により返還しなければならない。ただし、奨学金は、いつでも繰り上げて返還することができる。 ⑴～⑷　略

所管委員会	総務常任委員会
関係案件	議案第２９号
提出課	文化振興課

高田城三重櫓（やぐら）条例の一部改正について

1　改正理由

高田城の歴史等の調査研究や資料展示などを歴史博物館等と一体的かつ効果的に行うため、高田城三重櫓（やぐら）の所管を教育委員会に移すもの

2　改正内容

「市長」を「教育委員会」に改める。（第３条―第５条、第１０条関係）

3　施行期日

令和２年４月１日

4　高田城三重櫓（やぐら）条例改正案新旧対照表

（下線部分が改正箇所）

改正案	改正前
（開館時間） 第３条　高田城三重櫓（以下「三重櫓」という。）の開館時間は、午前９時から午後５時までとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。 （休館日） 第４条　三重櫓の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、これを変更することができる。 (1)～(3)　略 （入館の制限） 第５条　教育委員会は、他人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者その他入館が不適当と認められる者に対しては、三重櫓への入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。 （委任） 第１０条　この条例の施行に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。	（開館時間） 第３条　高田城三重櫓（以下「三重櫓」という。）の開館時間は、午前９時から午後５時までとする。ただし、市長　　が必要と認めるときは、これを変更することができる。 （休館日） 第４条　三重櫓の休館日は、次のとおりとする。ただし、市長　　が必要と認めるときは、これを変更することができる。 (1)～(3)　略 （入館の制限） 第５条　市長　　は、他人に迷惑を及ぼすおそれがあると認められる者その他入館が不適当と認められる者に対しては、三重櫓への入館を拒否し、又は退館を命ずることができる。 （委任） 第１０条　この条例の施行に関し必要な事項は、市長　　が規則で定める。

所管委員会	総務常任委員会
関係案件	議案第５１号
提出課	契約検査課・文化振興課

工事請負契約の締結について
（上越文化会館外壁改修　工事）

（1）入札年月日　令和２年１月29日

（2）仮契約の相手方　日曹・中田　共同企業体
（上越市中郷区藤沢1070番地3）

（3）契約額　286,000,000円
（入札金額）　(260,000,000円)

（4）予定価格　290,290,000円
（税抜価格）　(263,900,000円)

（5）最低制限価格　264,529,100円
（税抜価格）　(240,481,000円)

（6）工期　契約締結の日から280日

（7）入札方法　制限付き一般競争入札

（8）入札結果

	入札者	入札金額（円）			
		第１回	第２回	第３回	
1	日曹・中田 共同企業体	276,000,000	264,000,000	260,000,000	○
2	高舘・大島・相村 共同企業体	282,000,000	269,000,000	262,000,000	
3	田中・大栄 共同企業体	284,000,000	267,000,000	263,000,000	
4	久保田・清水 共同企業体	280,000,000	270,000,000	辞退	
5	田辺建設・牛木組 共同企業体	278,000,000	272,000,000	辞退	

上越文化会館外壁改修工事
概要

○改修工事の内容

主な場所		工事内容
文化会館棟	外壁（タイル張り部分）	アルミパネル張り
	外壁（塗装部分）	複層塗材Ｅ吹付
	軒裏	外装薄塗材Ｅ吹付
東側ポーチ	屋上	カラーウレタン塗膜防水
	外壁	複層塗材Ｅ吹付
	軒裏	外装薄塗材Ｅ吹付
浄化槽棟	屋上	カラーウレタン塗膜防水
	外壁	複層塗材Ｅ吹付
その他		外壁改修に伴う電気・機械設備工事一式

所管委員会	総務常任委員会
関係案件	議案第１号
提出課	企画政策課

歳出科目（Ｐ134～Ｐ135）	２款１項７目	企画費

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
土地利用対策費	488	532	△44

主な財源		主な経費			
県支出金	380		報酬	379	旅費	37
一般財源	108		職員手当等	11	使用料及び賃借料	4
			共済費	57		

【目的】

上越市大規模開発行為の適正化に関する条例や国土利用計画法に基づく土地取引の届出制度の運用により、関係法令や市の各種計画等と整合を図りながら、第６次総合計画の土地利用構想に適合した土地利用を推進する。

【２年度目標】

・上越市大規模開発行為の適正化に関する条例の運用により、市内の大規模な土地利用を審査し、第６次総合計画を始めとする市の各種計画や関係法令に適合した土地利用を推進する。
・国土利用計画法に基づく土地取引の届出制度の運用により、市内の大規模な土地取引情報を把握するとともに形式審査を行い、第６次総合計画を始めとする市の各種計画や関係法令に適合した土地利用の推進に活用する。

【実施内容】

・上越市大規模開発行為の適正化に関する条例の運用
・上越市大規模開発行為審議会の開催
・国土利用計画法に基づく土地売買等届出書の受理等

歳出科目（P134～P135）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
企画調整費	17,425	55,502	△38,077

主な財源		主な経費	
国庫支出金	3,363	報酬	970
一般財源	14,062	旅費	1,784
		委託料	7,102
		使用料及び賃借料	1,379
		負担金補助及び交付金	5,629

○企画調整費（庶務関係）　2,026

【目的】

国、県、関係自治体及び関係機関と連携を図りながら、要望活動などを通じ、市の施策や事業の実現を目指す。

【2年度目標】

・国、県、関係自治体及び関係機関との連携や連絡調整を図りながら、当市が抱える諸課題の早期解決及び改善に向けた提言や要望を行う。
・上越市内官公長連絡協議会を開催し、国・県の機関と情報や課題を共有する。

【実施内容】

・国及び県の制度、予算に対する要望活動
・市内官公長連絡協議会の開催

○重要施策企画調整事業　8,489

【目的】

各種制度や事業等に関する情報収集、調査研究を行うとともに、市の重要施策の企画、立案及び総合調整を行う。また、「産・官・学・金・労・民」の連携・協働により、当市における地方創生の取組を促進する。

【2年度目標】

・第6次総合計画に掲げた将来都市像「すこやかなまち」の実現に向けて、後期基本計画に基づく取組の着実な推進を図る。
・重要施策の企画・立案に必要な調査研究、情報収集等を行う。
・第2期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の着実な推進に向けて、「産・官・学・金・労・民」の連携・協働を強化し、まちづくりを担う次世代の人材発掘・育成や中長期的な観点からUターンの関心を高める新たな取組に着手する。

【実施内容】

(1)　第6次総合計画の推進

施策・事業の進捗や課題を踏まえ、計画の推進に必要な新規事業の検討や既存事業の見直しを行う。

⑵　第２期上越市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進　　2,473

・「産・官・学・金・労・民」の連携・協働による「上越市まち・ひと・しごと創生推進協議会」を運営する。

［新］・中長期的な観点からＵターンについての関心が高まるよう、市内在学の高校生及び当市の出身で市外に居住する子育て世帯等に向け、ＳＮＳ等を活用して当市の魅力や充実した子育て支援制度などを発信する。

［新］・若い世代の「ふるさと上越市」に対する理解と愛着を深めるため、高校生による当市の魅力を伝える映像の制作・発信に取り組む。

［新］・まちづくりを担う次世代の人材発掘・育成を促進するため、若者が気軽に参加しやすい交流会を開催し、まちづくりへの参画につなげていく。

［充］⑶　第２期地方創生推進事業補助金　　3,125

総合戦略に基づく民間団体や事業者等による地方創生に向けた取組を支援する地方創生推進事業補助金（補助率 1/2・交付対象事業費限度額 1,000 千円）に、第２期総合戦略に掲げた重点事項に基づき提案された事業への補助を拡充（補助率 3/4・交付対象事業費限度額 500 千円）し、地域を挙げた地方創生の取組を一層推進する。

⑷　重要施策の企画・立案等　　2,538

地方創生、地方分権及び国県の支援制度等に係る調査研究や情報収集を行う。

［充］⑸　上越地域図柄入りナンバープレートの導入・普及　　353

本年５月に予定されている交付開始にあわせて記念出発式を開催するなど、ＰＲ、普及促進を図る取組を進める。

○域学連携推進事業　　183

【目的】

大学と地域との連携体制を構築し、相互交流や実践活動を推進するとともに、地域の課題解決やまちづくりの推進に取り組み、地域の活性化を図る。

【２年度目標】

大学と地域の連携による課題解決・まちづくりの新たな取組を２件以上実施する。

【実施内容】

大学の専門知識や学生の活力・アイデアを地域の課題解決やまちづくりにいかすため、市内大学との連携強化を図るとともに、市外の大学と地域との新たな連携づくりに引き続き取り組む。

○城下町高田再生推進事業　　6,727

【目的】

城下町高田の歴史・文化資産の活用を通じて、高田市街地の魅力や都市機能の向上を図り、定住の促進と交流人口の拡大を図る。

【２年度目標】

・地域再生計画「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」の推進に向けて、民間団体や事業者等による事業を支援する。

・次世代の街の担い手育成に向けて、空き町家等の利活用に取り組む自立的な推進体制の構築を目指す。

【実施内容】

(1) 城下町高田創生事業補助金　2,100

民間団体や事業者等による地域再生計画「城下町高田の歴史・文化をいかした『街の再生』」の推進に資する事業を支援する。

(2) 城下町高田リノベーションまちづくり事業　1,987

若者による空き町家の利活用をテーマとしたワークショップなどを引き続き開催し、若者がまちづくりへの関わりを深めることで、街なかの賑わい創出と地域への愛着を育むとともに、次世代のまちづくりの担い手の育成を推進する。

[新](3) 社会資本整備総合交付金事業（城下町高田地区）事後評価の実施　2,640

3年間の計画期間終了に伴う事業効果の検証を行う。

提　出　課	文化振興課

歳出科目（P134～P137）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
歴史資源活用推進事業	138,737	36,780	101,957

主な財源		主な経費			
国庫支出金	58,403		報酬	1,314	備品購入費 5,492
市債	53,600		委託料	13,484	負担金補助及び交付金
一般財源	26,734		工事請負費	100,903	15,050

市民の歴史資源の魅力をいかしたまちづくりを推進し、地域に対する誇りと愛着の涵養を図るとともに、歴史的建造物の保存と活用に向けた取組などを通して、地域の活性化と文化の振興を図る。

○歴史資源を活用した回遊観光の促進と賑わいの創出　121,921

【目的】

歴史資源を次世代へ継承する環境を整えるとともに、街なかの回遊性の向上や賑わいの創出を図る。

【2年度目標】

貴重な歴史資源への関心を高め、周辺地域の賑わい創出に寄与する。

【実施内容】

(1)　旧今井染物屋の活用に向けた取組　114,949

旧今井染物屋を地域の手仕事文化の継承と発信を行う拠点として活用するため、耐震改修工事等を行う。

［充］・耐震改修工事等　114,700

建物の耐震改修工事を行うとともに、改修後の施設の管理運営に必要な備品等を購入する。

・高田街なか回遊サイン整備委託料　132

街なかにおける来訪者の回遊促進等に向け、看板を整備する。

［新］・地域おこし協力隊の募集　117

改修後の旧今井染物屋を拠点として活動する地域おこし協力隊の募集に取り組む。

(2)　城下町高田の歴史・文化をいかした街なか回遊観光の促進　1,609

地域資源をＰＲするとともに、地域の魅力をいかしたまちづくりの機運を高め、街なかの回遊観光の促進を図る。

［新］・ガイドブックの作成　1,492

高田地区における歴史的建造物等のほか、歴史文化に関連した取組や食などをまとめて紹介するガイドブックを作成する。

［新］・共通入館券の発行　　117

高田城三重櫓、歴史博物館、小林古径記念美術館のほか、高田に関連のある偉人・先人を紹介しているスキー発祥記念館、坂口記念館に入館できる共通券を発行する。

(3)　街なか散策と町家の利活用の促進　　1,476

建物改修工事前の旧今井染物屋における建物の公開や町家の魅力を発信する体験イベントを実施する業務を委託するとともに、地元の町内会や市民団体と連携したイベントである越後高田町家三昧に合わせ、市民スタッフによる建物の公開やまちなみ散策ミニツアーを実施する。

(4)　高田世界館の活用　　2,750

誘客イベントの実施など、市内外の交流人口の拡大を促進する業務を委託する。

(5)　市所有の町家の維持管理　　1,137

町家の敷地の除草や消火器の点検などを実施する。

［新］○歴史的旧家連携交流支援事業　　10,272

【目的】

地域資源の魅力発信に向け、市民団体が主体的となって連携して取り組む事業を支援し、更なる交流人口の拡大や地域の活性化につなげる。

【2年度目標】

市内に点在する歴史的旧家の関心を高めるとともに、歴史的建造物等の活用と回遊の促進を図る。

【実施内容】

(1)　歴史的旧家を活用する団体の連携した活動への支援　　1,500

歴史的旧家を活用する団体が連携して実施する回遊事業を支援する。

(2)　歴史的旧家の活用に向けた環境整備の支援　　8,772

集客に向け、歴史的旧家を日常的に活用するために取り組む環境整備を支援する。

［新］○寺町サミットの開催　　2,591

【目的】

寺院を活かしたまちづくりを推進することにより、市民の地域への誇りや愛着を高めるとともに、地域の魅力を次世代に引き継ぐ。

【2年度目標】

当市を含む6都市が参加する「寺町サミット」の上越開催を通して、寺院の歴史や魅力など、貴重な地域資源を活かしたまちづくりの取組を進める。

【実施内容】

地域のまちづくり団体と市が連携し、実行委員会を立ち上げ、「第26回寺町サミットin上越」を開催する。

○雁木整備事業補助金の交付　　2,250

【目的】

市民が共同で取り組む雁木整備を促進する。

【2年度目標】

市民への経済的支援を行うことにより、雁木整備を促進する。

【実施内容】

地域指定を受け、市民が取り組む雁木の新築・修繕、雁木下通路の段差解消工事に対し、補助金を交付する。（限度額を450千円から500千円に拡充）

＜地域指定及び補助金の交付状況（令和元年度は交付見込み）＞

内訳 年度	地域指定		補助金交付	
	件数	指定距離	件数	金額
平成16～30年度	25件	10,543m	123件	52,753
令和元年度	―	―	6件	1,367
合計	25件	10,543m	129件	54,120

○その他

歴史資源活用推進事業を実施するための事務費　　1,703

・報酬、共済費、旅費ほか

提　出　課	交通政策課

歳出科目（P136～P137）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
新幹線整備促進費	39,960	58,256	△18,296

主な財源		主な経費			
一般財源	39,960		旅費	259	使用料及び賃貸料 21
			需用費	23	負担金補助及び交付金
			委託料	1,430	38,225

北陸新幹線が持つ様々な価値と可能性をまちの力として取り込み、地域の発展と市民生活の質の向上へとつなげていくため、関係団体との連携の下、北陸新幹線をいかしたまちづくりを進めていく。

また、広域の玄関口である上越妙高駅周辺地区において、まちなみ検討会議で取りまとめた「新幹線駅周辺地区まちなみ形成構想」の具現化に向けた事業を展開する。

○新幹線新駅周辺地区まちなみ形成推進事業　38,136

【目的】

広域の玄関口である上越妙高駅周辺地区のまちなみ形成と、土地利用方針に位置付けた「質の高い新都市空間」の形成に向けた取組を推進する。

【2年度目標】

各種補助制度を通じた上越妙高駅周辺への企業進出の更なる促進を図る。

【実施内容】

(1) 企業設置等奨励金

進出に伴い取得した固定資産（土地を除く）の課税額相当額を奨励金として交付する。

(2) 建築資金借入利子前払事業補助金

施設の建築に当たり資金借入れをする企業に対し、借入利子（10年分）を前払いすることにより、資金調達に係るコストを低減させる。

(3) レンタルオフィス・サポート事業補助金

賃貸オフィスへ新たに入居する企業に対し、賃貸料の一部を助成することにより、進出に伴う初期費用を低減させる。

○新幹線まちづくり推進事業　1,434

【目的】

北陸新幹線開業によるまちの変化を的確に捉えながら効果的な施策を展開し、北陸新幹線をまちの力として取り込むことにより、第6次総合計画で設定した市政運営のテーマである「選ばれるまち」「住み続けたいまち」の実現を図る。

【2年度目標】

北陸新幹線をいかしたまちづくりを推進するとともに、北陸新幹線上越妙高駅の利用促進を図る。

【実施内容】

(1) 上越妙高駅利用啓発事業

令和4年度末の北陸新幹線敦賀延伸に向け、北陸新幹線の利便性を市ホームページ等で情報発信し、市民や民間事業者の利用促進につなげる。

(2) 上越妙高駅イルミネーション事業

冬期間に上越妙高駅東口にイルミネーションを設置することにより、来訪者への歓待の意を示すとともに、市民の来訪を促し、駅の賑わいを創出する。

○北陸新幹線の整備促進に向けた協議会の活動など　390

【目的】

北陸新幹線の早期全線開通と県内駅の利便性向上に向け、沿線自治体との連携の下、関係団体に対する要望活動等を行う。

【2年度目標】

北陸新幹線の整備状況等に関する情報収集を行うとともに、効果的な要望活動を展開する。また、利便性の高い列車の停車実現に向けた各同盟会、協議会等の構成市と連携を強化し、取組を進める。

【実施内容】

・北陸新幹線建設・活用促進期成同盟会による要望活動及び調査研究活動等
・北陸新幹線関係都市連絡協議会による要望活動
・北陸新幹線建設促進同盟会への参加

歳出科目（P136～P137）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
並行在来線対策事業	66,021	72,828	△6,807

主な財源			主な経費		
市債	63,200		旅費	74	負担金補助及び交付金
一般財源	2,821		需用費	11	65,903
			使用料及び賃貸料	33	

【目的】

沿線の関係団体や関係機関と連携し、在来鉄道（えちごトキめき鉄道、ほくほく線、信越本線）の利便性の維持・向上及び利用促進を図るとともに、えちごトキめき鉄道㈱及び北越急行㈱の経営安定化に向けた支援を行う。

【2年度目標】

・市民の通学や通勤、買い物などの移動手段であり、地域経済を支える重要な社会インフラである在来線の安全で安定した運行を維持するため、えちごトキめき鉄道㈱及び北越急行㈱の経営安定化を図る支援を行う。
・運行ダイヤや乗り継ぎなど、利便性や快適性が向上するよう鉄道事業者へ働きかけを行うとともに、県及び関係自治体、鉄道事業者、関係団体と連携して利用促進や沿線交流の活性化を図る。

【実施内容】

(1) えちごトキめき鉄道の利便性向上及び利用促進　797
えちごトキめき鉄道活性化協議会を通じて、えちごトキめき鉄道の利便性向上やマイレール意識の醸成につながる利用促進の取組を実施する。

(2) えちごトキめき鉄道安定経営支援補助金　59,261
えちごトキめき鉄道㈱の経営安定化を図るため、同社が行う鉄道施設の維持修繕に対し支援を実施する。

(3) ほくほく線の利便性向上及び利用促進　46
県、関係自治体及び北越急行㈱とともに、ほくほく線の利便性の向上やマイレール意識の醸成につながる利用促進の取組を実施する。

(4) 北越急行安全輸送設備等整備事業補助金　5,706
北越急行㈱の経営安定化を図るため、同社が国庫補助事業を活用して行う鉄道施設の更新に対し、県及び関係自治体による協調支援を実施する。

(5) 信越本線の利便性向上及び利用促進　211
信越本線の利便性向上に向けて、新潟県鉄道整備促進協議会及び上越・北陸新幹線直行特急実現期成同盟会を通じた要望活動や利用促進の取組を実施する。

提　出　課	文化振興課

歳出科目（P136～P139）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
町家交流館高田小町管理運営費	25,070	9,423	15,647

主な財源				主な経費			
使用料及び手数料	1,860	諸収入	40	需用費	2,120	使用料及び賃借料	168
国庫支出金	3,822	市債	9,400	役務費	74	工事請負費	13,970
財産収入	7	一般財源	9,941	委託料	8,738		

【目的】

郷土の歴史的建造物を活用し、市民が集い、交流する場を提供することにより、賑わいと活力のある地域社会の形成を図る。

【2年度目標】

入館者数　30,000人

【実施内容】

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

高田のまち歩きを行う市民や観光客の休憩スペースとして利用するほか、市内の観光地や文化に関する情報を提供する。

(2) 集会・イベント、文化活動などの場の提供

地域住民の会議や集会、習い事など、交流や文化活動の場を提供する。

(3) 高田の歴史・文化の紹介

ギャラリーを活用し、雁木や町家などの懐かしい街並みや暮らしの写真を展示する。

(4) 物品販売の継続

街なか回遊の拠点性と施設周辺の目的地としての魅力を高めるため、引き続き物品販売の社会実験を実施する。

[充](5) 駐車場の整備

施設利用者やまち歩きを行う観光客等の利便性の向上を図るため、新たに大型観光バスの駐車も可能な駐車場を整備する。

【施設の概要】

・所 在 地　本町6丁目3番4号
・構 造 等　木造2階建一部平屋建　延床面積508.33㎡
　（広場はアスファルト舗装　土地面積350.83㎡）
・開館時間　午前9時～午後10時（広場は全日）
・休 館 日　毎月第4月曜日、12/29～1/3（広場は無休）
・入 館 料　無料（ただし、貸室は使用料が必要）

提　出　課	交通政策課

歳出科目（P138～P139）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
地域公共交通運行対策費	398,113	374,469	23,644

主な財源		主な経費			
県支出金	25,443		報酬	1,318	備品購入費	3,891
市債	4,700		需用費	577	負担金補助及び交付金	
一般財源	367,970		使用料及び賃借料	471		391,024

市民、交通事業者、行政等が連携・協力し、地域公共交通の利用促進に取り組むとともに、第2次上越市総合公共交通計画に基づき、路線バスの再編や効率的で利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図る。

通勤や通学、通院、買い物など、市民の日常生活に必要不可欠な移動手段を維持・確保するため、路線バスや乗合タクシー、互助による輸送等の運行に対する支援を行う。

○上越市地域公共交通活性化協議会負担金　1,153

【目的】

市民ニーズや地域の特性に応じた地域公共交通の充実に向け、市民、交通事業者、行政等が連携・協力し、効率的で利便性の高い公共交通ネットワークを構築する。

【2年度目標】

・第2次上越市総合公共交通計画に基づき、停留所の新設や通院・買物利用に合わせたダイヤ設定等による利便性向上のほか、路線バスの重複解消等による効率化など、路線バスの再編・見直しを進める。

・路線バスを廃止する地域において、地域住民の主体的な取組を支援し、住民の移動手段の確保を図る。

【実施内容】

(1) 第2次上越市総合公共交通計画に基づく路線バスの再編・見直し

・バス停の新設（上越大通り線、宮口線、関山ルートほか4路線）

・通学や通院、買物に合わせたルート及びダイヤ設定（上越大通り線、上柿野ルート、黒岩線、関山ルート、旭線ほか7路線）

・路線の重複解消（水科・今保線、高田・浦川原線）

・利用状況を踏まえた減便（三針線）

・住民の互助による輸送への転換（水科・今保線の一部、真砂・岡田線の一部）

(2) 公共交通の利用促進

［充］・周知・啓発資料の作成及び配布（総合時刻表、マイ時刻表、高齢者向け利用啓発チラシ、ホームページ掲載情報周知ポスター、再編周知チラシ）

［新］・市営バス定期券、土休日乗り放題券の導入

○バス運行対策費補助金　390,281

【目的】

児童生徒の通学や高齢者の通院など、市民の日常生活を支える重要な交通手段である路線バスや乗合タクシーの運行に対し補助を行い、生活交通を維持・確保する。

【2年度目標】

市民の日常生活を支える路線バスや乗合タクシーについて、前期73系統、後期70系統の運行を維持・確保する。

【実施内容】

(1) バス運行対策費補助金　386,225

市民の日常生活を支える路線バスや乗合タクシーについて、前期73系統、後期70系統の運行を維持・確保するため、バス及びタクシー事業者に補助金を交付する。

[新](2) バスロケーションシステム導入実証実験　1,697

通学利用が多い上越大通り線、富岡線及び五智・春日山の観光地を通る教育大学線の3路線において、バス事業者と連携し、バスの位置が携帯端末で確認できるバスロケーションシステムの導入に向けた実証実験を行う。

[新](3) 直江津・浦川原線ルート見直しに係る実証実験　17

直江津・浦川原線の一部の便について、上名柄・青野間の運行ルートを国道253号から集落がある旧道（市道上青野上五貫野線）に変更し、路線バスの新規利用者の獲得に向けた実証実験を行う。

[新](4) 島田線の上越妙高駅乗入れに係る実証実験

島田線の土休日便について上越妙高駅への乗入れを行い、新規利用者の獲得に向けた実証実験を行う。

○コミュニティバス事業　6,679

【目的】

市営バス停留所を適切に維持管理するとともに、路線バスを廃止する地域等において、地域と連携して移動手段を確保する。

【2年度目標】

・市営バス停留所を適切に維持管理する。
・路線バスを廃止する地域において、市営バスの新規導入に向けた準備を進めるほか、互助による輸送に対する支援を行い、移動手段を確保する。

【実施内容】

(1) 市営バス停留所の設置及び維持管理

・令和3年度に路線を再編する牧区、並びに市営バスの新規導入を予定している板倉区及び清里区にバス停留所を設置する。
・安塚区・頸城区・名立区の待合所及び停留所の維持管理を行う。

[新](2) 清里区市営バス車両の購入

令和3年度に運行を開始する清里区市営バスの車両を購入する。

[新](3) 住民主導型コミュニティ交通事業補助金

路線バスを廃止する地域において、地域住民が主体となって行う互助による輸送の取組に対して補助金を交付する。

＜参考１＞　年度別、補助路線区分別補助金一覧

年度 / 補助路線区分	平成30年度実績		令和元年度見込		令和2年度予算		
	系統数	補助金	系統数	補助金	系統数		補助金
					前期	後期	
国庫補助路線（幹線系統）	7	65,605	6	50,250	6	2	52,391
国庫補助路線（フィーダー系統）	21	38,937	21	36,319	21	10	26,583
県単独補助路線	16	96,916	12	66,211	9	11	68,857
市単独補助路線	29	154,708	34	194,427	37	47	238,394
合　　計	73	356,166	73	347,207	73	70	386,225

※令和２年度は、年度途中において「上越市地域公共交通再編実施計画」の計画期間終了に伴い補助区分が変更となることから、前期と後期の系統数が異なっているほか、名立区市営バスが国庫補助路線（フィーダー系統）から除外されるため、３系統減となっている。

＜参考２＞　令和２年度 事業者別、補助路線区分別補助金一覧表

事業者名	補助路線区分	系統数		市補助金	
		前期	後期		うち県単補助金
頸城自動車	国庫補助路線（幹線系統）	4	2	44,394	－
	国庫補助路線（フィーダー系統）	2	1	4,395	－
	県単独補助路線	6	7	46,996	19,240
	市単独補助路線	10	12	66,190	－
	小　計	22	22	161,975	19,240
くびき野バス	国庫補助路線（幹線系統）	2	0	7,997	－
	国庫補助路線（フィーダー系統）	4	2	10,923	－
	県単補助路線	0	1	7,311	2,500
	市単独補助路線	9	12	69,721	－
	小　計	15	15	95,952	2,500
頸南バス	県単独補助路線	1	1	1,899	573
	市単独補助路線	5	5	31,758	－
	小　計	6	6	33,657	573
頸北観光バス	国庫補助路線（フィーダー系統）	3	0	3,854	－
	県単独補助路線	2	2	12,651	3,178
	市単独補助路線	10	13	65,962	－
	小　計	15	15	82,467	3,178
東頸バス	国庫補助路線（フィーダー系統）	7	5	6,417	－
	市単独補助路線	1	3	3,725	－
	小　計	8	8	10,142	－
アイエムタクシー	国庫補助路線（フィーダー系統）	1	1	386	－
	市単独補助路線	1	1	715	－
	小　計	2	2	1,101	－
新井タクシー	国庫補助路線（フィーダー系統）	1	1	608	－
	市単独補助路線	1	1	323	－
	小　計	2	2	931	－
上越市	国庫補助路線（フィーダー系統）	3	0	－	－
合　計	国庫補助路線（幹線系統）	6	2	52,391	－
	国庫補助路線（フィーダー系統）	21	10	26,583	－
	県単独補助路線	9	11	68,857	25,491
	市単独補助路線	37	47	238,394	－
合　計		73	70	386,225	25,491

※令和２年度は、年度途中において「上越市地域公共交通再編実施計画」の計画期間終了に伴い補助区分が変更となることから、前期と後期の系統数が異なっているほか、名立区市営バスが国庫補助路線（フィーダー系統）から除外されるため、３系統減となっている。

※国庫補助金（幹線系統及びフィーダー系統）及び同補助に対する県の協調補助は、事業者に直接交付される。

＜参考３＞ 令和２年度路線別バス運行対策費補助金一覧（予算額）

【国庫補助路線（地域間幹線系統）】

系統番号	路線名		起点～(主な経由地)～終点	運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
幹1	浜線	＜幹1 前期分＞	鵜の浜～柿崎病院前～柿崎ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ	7.0	21,071.4	0.3	6,721,776	579,776
幹2	上越大通り線（1）		上越妙高駅前～市役所・労災病院前～鵜の浜	15.0	262,265.0	1.9	83,662,535	27,815,878
幹3	上越大通り線（3）		中央病院～上越妙高駅前～新井ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ	12.0	129,788.9	2.1	41,402,659	16,098,448
幹4	直江津・浦川原線（1）	＜幹4 前期分＞	ﾏﾙｹｰﾊﾞｽｾﾝﾀｰ～青野十文字・浦川原小学校前～浦川原ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ	5.0	35,535.2	2.1	11,335,728	4,435,003
幹5	宮口線（1）	＜幹5 前期分＞	高田駅前～中央病院・バロー上越店前～深山荘	5.0	36,732.3	2.3	10,796,357	3,862,245
幹6	宮口線（2）	＜幹6 前期分＞	高田駅前～中央病院～牧小学校前	5.0	24,185.0	1.6	7,107,971	2,062,971
前期：8系統　後期：2系統			小　計		509,577.6		161,027,026	54,854,321

【国庫補助路線（地域内フィーダー系統）】

系統番号	路線名		起点～(主な経由地)～終点	運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
F1	柿崎黒岩線（2）	＜F1 前期分＞	柿崎バスターミナル～米山寺・下灰庭～黒岩	3.0	5,557.3	0.8	2,175,127	219,317
F2	安塚線		うらがわら駅前～虫川大杉駅前～保健ｾﾝﾀｰ前	9.0	29,849.4	1.2	6,999,684	3,077,274
F3	島田線		高田駅前～岡原～曽根田	5.0	46,089.8	0.9	13,545,792	2,353,275
F4	佐内・直江津循環線		佐内入口～労災病院前～直江津駅前	4.0	23,997.6	0.7	6,865,713	880,060
F5	真砂・岡田線		高田駅前～真砂寺前～北坪山上	4.0	27,319.7	1.0	8,029,259	1,465,300
F6	直江津・浦川原線（2）	＜F6 前期分＞	保倉川橋～青野十文字～ﾏﾙｹｰﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	2.0	10,731.0	0.9	3,423,189	619,641
F7	大平線（1）	＜F7 前期分＞	浦川原小学校前～虫川大杉駅前～大島ｺﾐｭﾆﾃｨﾌﾟﾗｻﾞ前	3.0	8,139.6	0.5	1,908,736	262,736
F8	大平線（2）	＜F8 前期分＞	浦川原小学校前～虫川大杉駅前～小谷島	2.0	3,712.8	0.4	870,651	119,651
F9	吉川西部循環線（くびき駅経由）	＜F9 前期分＞	吉川区総合事務所前～くびき駅前～吉川区総合事務所前	4.0	9,527.6	1.6	3,729,102	532,906
F10	吉川西部循環線（上下浜駅経由）	＜F10 前期分＞	吉川区総合事務所前～上下浜駅前～吉川区総合事務所前	4.0	9,185.7	6.5	3,595,282	2,302,282
F11	青柳線（下稲塚経由）	＜F11 前期分＞	高田駅前～中央病院・下稲塚～青柳	1.0	7,125.5	1.0	2,094,184	320,555
F12	青柳線（松野木経由）	＜F12 前期分＞	高田駅前～中央病院・松野木～青柳	1.0	9,289.1	1.3	2,730,066	414,700
F13	岡沢ルート（予約運行便）		新井バスターミナル～中郷区総合事務所前～岡沢	4.0	－	－	7,419,161	708,232
F14	関山ルート（予約運行便）		新井バスターミナル～姫川原～コメリ前	3.0	－	－	5,932,920	513,174
F15	月影・下保倉・末広ルート（1）		谷～浦川原区中心部～うらがわら駅前	12.0	－	－	5,157,234	776,754
F16	月影・下保倉・末広ルート（2）		谷～浦川原区中心部～うらがわら駅前	1.0	－	－	256,792	38,677
F17	上柿野ルート		うらがわら駅前～上柿野～うらがわら駅前	2.0	－	－	111,212	16,750
F18	小麦平ルート		うらがわら駅前～小麦平～うらがわら駅前	2.0	－	－	108,942	16,408
F19	名立区自家用有償旅客運送（1）	＜前期のみ＞	うみてらす名立前～ろばた館前～東飛山	2.0	11,486.4	－	2,198,496	249,026
F20	名立区自家用有償旅客運送（2）	＜前期のみ＞	コミュニティプラザ前～ろばた館前～東飛山	5.0	18,536.2	－	3,547,828	258,429
F21	名立区自家用有償旅客運送（3）	＜前期のみ＞	コミュニティプラザ前～名立駅前～宝田小学校前	2.5	2,038.3	－	390,130	1,079
前期：21系統　後期：10系統			小　計		222,586.0		81,069,500	15,146,226

【県単補助路線】

系統番号	路線名		起点～(主な経由地)～終点	運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
県1	南川線（2）		労災病院前～島田～海洋ｾﾝﾀｰ前	5.1	42,820.8	2.0	12,251,030	5,057,807
県2	教育大学線（1）		中央病院～教育大学～直江津駅前	6.0	60,045.0	1.9	17,178,874	6,733,815
県3	春日山線（1）		直江津駅前～春日山下　～中央病院	4.0	40,993.8	1.9	11,728,326	4,875,628
県4	春日山線（2）		直江津駅前～春日山下　～悠久の里前	4.0	40,791.0	1.7	11,670,305	4,257,716
県5	富岡線		高田駅前～富岡・謙信公武道館前～ﾏﾙｹｰﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	7.5	85,495.3	3.0	24,460,205	15,510,575
県6	能生線		能生案内所～名立車庫前～労災病院前	2.0	35,618.4	2.0	10,190,424	3,114,351
県7	新井・板倉線（2）		新井バスターミナル～針～板倉ｺﾐｭﾆﾃｨﾌﾟﾗｻﾞ前	5.5	17,811.7	2.5	7,147,835	3,552,438
県8	山直海線（2）		柿崎バスターミナル～原之町～村屋	4.0	28,259.9	2.0	11,060,924	3,150,900
県9	犀潟駅線		海洋ｾﾝﾀｰ前～犀潟駅前～海洋ｾﾝﾀｰ前	3.5	19,063.1	2.3	7,461,297	2,719,813
	直江津・浦川原線（1）	＜幹4 後期分＞	ﾏﾙｹｰﾊﾞｽｾﾝﾀｰ～青野十文字・浦川原小学校前～浦川原ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ	5.0	35,624.0	1.8	11,364,056	3,712,958
	宮口線（1）	＜幹5 後期分＞	高田駅前～中央病院・バロー上越店前～深山荘	5.0	37,024.6	2.1	10,882,271	3,570,755
前期：9系統　後期：11系統			小　計		443,547.6		135,396,547	56,256,756

【市単補助路線】

系統番号	路線名		起点～(主な経由地)～終点	運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
市1	山麓線		直江津駅前～医療ｾﾝﾀｰ病院～上越妙高駅前	3.0	20,967.0	1.1	5,998,658	1,231,204
市2	謙信公大通り循環線		春日山駅前～上越総合病院～春日山駅前	6.0	23,280.6	1.0	6,660,579	1,345,675
市3	春日山駅・アルカディアシャトル便		春日山駅前～リージョンプラザ～上越総合病院	10.0	14,250.0	1.2	4,076,925	747,635
市4	謙信公大通り線		直江津ｼｮｯﾋﾟﾝｸﾞｾﾝﾀｰ前～国府新町～上越総合病院	1.5	2,702.7	1.2	773,242	287,616
市5	桑取線		労災病院前～有閑川橋～くわどり湯ったり村	5.0	77,361.6	1.4	22,133,153	5,477,297
市6	青柳線（1）		高田駅前～下稲塚～青柳	3.0	27,445.4	1.0	8,066,203	1,504,825
市7	青柳線（2）		高田駅前～松野木～青柳	2.5	34,189.4	1.4	10,048,264	1,930,975
市8	浦川原線		高田駅前～番町～浦川原ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ	5.0	76,294.4	1.3	22,422,924	5,274,550
市9	増田線（1）		高田駅前～横曽根～くびき駅前	3.0	27,474.0	0.7	8,074,608	1,122,250
市10	柴太線		新井ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ～飛田～高田駅前	3.0	17,641.2	0.6	5,184,748	628,000
市11	正善寺線		大手町十字路・西域病院前～下正善寺～上正善寺	4.0	16,580.8	0.6	4,873,097	802,400
市12	青田線		高田駅前～中田原～青田	3.0	10,845.0	0.7	3,187,345	578,500
市13	菫立線		板倉中学校～菫立	6.5	15,145.8	0.3	6,078,009	450,823
市14	三針線		板倉ｺﾐｭﾆﾃｨﾌﾟﾗｻﾞ前～下稲塚～清里区総合事務所前	5.0	7,915.3	0.4	3,176,409	309,165
市15	泉谷・勝穂循環線（2）		原之町～平等寺～原之町	2.0	7,567.4	0.0	2,961,880	32,012
市16	くびき駅線		海洋ｾﾝﾀｰ前～くびき駅～海洋ｾﾝﾀｰ前	3.5	21,641.8	1.0	8,470,600	1,046,909
市17	柿崎上直海線		柿崎バスターミナル～上直海～柿崎バスターミナル	2.0	46.6	4.3	18,239	10,832
市18	増田線（2）		柿崎バスターミナル～長峰～森本	4.0	19,048.3	0.2	7,455,504	238,113
市19	柿崎水野線		柿崎バスターミナル～米山寺～水野	3.0	9,222.1	0.3	3,609,529	218,740
市20	教育大学線（2）		バロー上越店前～教育大学～直江津駅前	2.5	28,062.8	1.5	8,028,767	2,470,157
市21	青柳線（3）		高田駅前～下稲塚～赤池	3.5	34,480.5	1.7	10,133,818	3,099,000
市22	山寺薬師線		板倉中学校～山寺薬師	7.0	27,451.7	0.4	11,016,367	903,956
市23	新井・板倉線（1）		けいなん病院～針～板倉ｺﾐｭﾆﾃｨﾌﾟﾗｻﾞ前	6.0	23,886.6	0.9	9,585,692	1,800,143
市24	柿崎黒岩線（1）		柿崎バスターミナル～米山寺～黒岩	3.0	9,268.6	0.3	3,627,730	188,626
市25	山直海線（1）		柿崎バスターミナル～村屋～尾神	5.0	49,854.9	1.4	19,513,207	3,766,967
市26	東西ルート		うらがわら駅前～浦川原区・大島区～大島コミュニティプラザ前	4.0	－	－	1,562,798	235,380
市27	岡沢ルート（定時運行）		新井バスターミナル～中郷区総合事務所前～岡沢	1.0	－	－	2,867,820	113,384
市28	関山ルート（定時運行）		新井バスターミナル～姫川原～コメリ前	0.5	－	－	1,330,078	196,665
市29	名立線（1）		労災病院前～うみてらす名立前～ｺﾐｭﾆﾃｨﾌﾟﾗｻﾞ前	3.0	39,639.0	0.5	11,340,717	1,249,352
市30	春日山・佐内線		佐内入口～春日山下～中央病院・悠久の里前	2.0	29,087.6	1.3	8,321,962	2,051,640
市31	直江津・浦川原線（3）		ﾏﾙｹｰﾊﾞｽｾﾝﾀｰ～労災病院前～浦川原ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ	2.0	20,436.8	1.2	6,519,339	1,454,019
市32	上関田線		板倉中学校～上関田	6.5	26,753.6	0.5	10,736,219	1,099,545
市33	泉谷・勝穂循環線（1）		原之町～法生寺～吉川小	5.0	21,507.1	1.6	8,417,878	1,607,421
市34	黒井駅線		海洋ｾﾝﾀｰ前～黒井駅南口～海洋ｾﾝﾀｰ前	3.5	31,294.9	1.1	12,248,823	2,478,105
市35	南川線（1）		労災病院前～市村～海洋ｾﾝﾀｰ前・頸城中学校前	5.0	35,210.8	1.6	10,073,809	3,596,671
市36	水科・今保線		高田駅前～番町～杉林入口	4.0	23,830.1	1.7	7,003,666	1,525,675
市37	柳町線		海洋ｾﾝﾀｰ前～柳町～海洋ｾﾝﾀｰ前	3.0	10,724.8	1.7	4,197,686	1,563,314
	浜線	＜幹1 後期分＞	鵜の浜～柿崎病院前～柿崎ﾊﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ	7.0	21,228.0	0.3	6,771,732	582,387
	宮口線（2）	＜幹6 後期分＞	高田駅前～中央病院～牧小学校前	5.0	24,552.5	1.6	7,215,980	2,092,379
	柿崎黒岩線（2）	＜F1 後期分＞	柿崎バスターミナル～米山寺・下灰庭～黒岩	3.0	5,697.5	0.8	2,230,001	224,851
	直江津・浦川原線（2）	＜F6 後期分＞	保倉川橋～青野十文字～ﾏﾙｹｰﾊﾞｽｾﾝﾀｰ	2.0	10,760.4	0.9	3,432,567	629,567
	大平線（1）	＜F7 後期分＞	浦川原小学校前～虫川大杉駅前～大島ｺﾐｭﾆﾃｨﾌﾟﾗｻﾞ前	3.0	8,344.8	0.5	1,956,855	309,582
	大平線（2）	＜F8 後期分＞	浦川原小学校前～虫川大杉駅前～小谷島	2.0	3,806.4	0.4	892,601	141,099
	吉川西部循環線（くびき駅経由）	＜F9 後期分＞	吉川区総合事務所前～くびき駅前～吉川区総合事務所前	4.0	9,744.9	1.6	3,814,154	545,059
	吉川西部循環線（上下浜駅経由）	＜F10 後期分＞	吉川区総合事務所前～上下浜駅前～吉川区総合事務所前	4.0	9,395.2	6.5	3,677,282	2,353,798
	青柳線（下稲塚経由）	＜F11 後期分＞	高田駅前～中央病院・下稲塚～青柳	1.0	7,145.1	1.0	2,099,945	326,945
	青柳線（松野木経由）	＜F12 後期分＞	高田駅前～中央病院・松野木～青柳	1.0	9,289.1	1.3	2,730,066	414,700
前期：37系統　後期：47系統			小　計		951,073.1		314,617,475	60,257,908

【合計】

		運行回数	実車走行キロ	平均乗車密度	経常費用	経常収益
前期：73系統　後期：70系統	合　計		2,126,784.5		692,129,548	186,515,211

※再編実施計画の終了に伴い、補助区分が変更となることから、前期と後期の系統数が異なる。

【単位：円】

経常欠損	収支率	国庫補助対象経費	県単補助対象経費	市単補助対象経費	国庫補助金 ① 国→事業者	県補助金 ② 県→事業者	県補助金 ③ 県→市→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ③+④	系統番号
6,142,000	8.6%	3,174,000	0	6,142,000	1,587,000	1,587,000	0	2,913,000	55,000	2,968,000	幹1
55,846,657	33.2%	26,816,000	0	55,846,657	13,408,000	13,408,000	0	18,739,000	10,291,000	29,030,000	幹2
25,304,211	38.8%	11,388,000	0	25,304,211	5,694,000	5,694,000	0	5,131,000	3,041,000	8,172,000	幹3
6,900,725	39.1%	5,353,000	0	6,900,725	2,676,000	0	0	0	4,224,000	4,224,000	幹4
6,934,112	35.7%	5,991,000	0	6,934,112	2,411,000	0	0	0	4,523,000	4,523,000	幹5
5,045,000	29.0%	3,142,000	0	5,045,000	1,571,000	0	0	0	3,474,000	3,474,000	幹6
106,172,705	34.0%	55,864,000	0	106,172,705	27,347,000	20,689,000	0	26,783,000	25,608,000	52,391,000	

経常欠損	収支率	国庫補助対象経費	県単補助対象経費	市単補助対象経費	国庫補助金 ① 国→事業者	県補助金 ② 県→事業者	県補助金 ③ 県→市→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ③+④	系統番号
1,955,810	10.0%	1,673,000	0	1,955,810	836,500	0	0	0	1,119,000	1,119,000	F1
3,922,410	43.9%	3,922,000	0	3,922,410	1,961,000	0	0	0	1,961,000	1,961,000	F2
11,192,517	17.3%	11,192,000	0	11,192,517	5,596,000	0	0	0	5,596,000	5,596,000	F3
5,985,653	12.8%	5,985,000	0	5,985,653	2,992,500	0	0	0	2,993,000	2,993,000	F4
6,563,959	18.2%	6,563,000	0	6,563,959	3,281,500	0	0	0	3,282,000	3,282,000	F5
2,803,548	18.1%	2,803,000	0	2,803,548	1,401,500	0	0	0	1,402,000	1,402,000	F6
1,646,000	13.7%	1,646,000	0	1,646,000	823,000	0	0	0	823,000	823,000	F7
751,000	13.7%	751,000	0	751,000	375,000	0	0	0	376,000	376,000	F8
3,196,196	14.2%	2,706,000	0	3,196,196	1,353,000	0	0	0	1,843,000	1,843,000	F9
1,293,000	64.0%	801,000	0	1,293,000	400,500	0	0	0	892,000	892,000	F10
1,773,629	15.3%	1,773,000	0	1,773,629	886,500	0	0	0	887,000	887,000	F11
2,315,366	15.1%	2,315,000	0	2,315,366	1,157,000	0	0	0	1,158,000	1,158,000	F12
6,710,929	9.5%	3,364,000	0	2,235,000	1,682,000	0	0	0	386,000	386,000	F13
5,419,746	8.6%	4,168,000	0	3,339,000	2,084,000	0	0	0	608,000	608,000	F14
4,380,480	15.0%	2,744,000	0	4,380,480	1,372,000	0	0	0	3,008,000	3,008,000	F15
218,115	15.0%	156,000	0	218,115	78,000	0	0	0	140,000	140,000	F16
94,462	15.0%	63,000	0	94,462	31,000	0	0	0	63,000	63,000	F17
92,534	15.0%	92,000	0	92,534	46,000	0	0	0	46,000	46,000	F18
1,949,470	11.3%	1,949,000	0	0	974,500	0	0	0	0	0	F19
3,289,399	7.2%	3,289,000	0	0	1,644,500	0	0	0	0	0	F20
389,051	0.2%	389,000	0	0	194,000	0	0	0	0	0	F21
65,943,274	18.6%	58,344,000	0	53,758,679	29,170,000	0	0	0	26,583,000	26,583,000	

経常欠損	収支率	国庫補助対象経費	県単補助対象経費	市単補助対象経費	国庫補助金 ① 国→事業者	県補助金 ② 県→事業者	県補助金 ③ 県→市→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ③+④	系統番号
7,193,223	41.2%	0	7,501,000	6,289,705	0	0	2,812,000	2,812,000	665,000	6,289,000	県1
10,445,059	39.1%	0	9,276,000	9,178,110	0	0	3,478,000	3,478,000	2,222,000	9,178,000	県2
6,852,698	41.5%	0	7,313,000	5,987,729	0	0	2,742,000	2,742,000	503,000	5,987,000	県3
7,412,589	36.4%	0	7,428,000	6,551,899	0	0	2,785,000	2,785,000	981,000	6,551,000	県4
8,949,630	63.4%	0	9,006,000	7,145,679	0	0	3,377,000	3,377,000	391,000	7,145,000	県5
7,076,073	30.5%	0	6,696,000	6,324,525	0	0	1,665,000	1,665,000	865,000	4,195,000	県6
3,595,397	49.6%	0	2,714,000	3,595,397	0	0	573,000	573,000	753,000	1,899,000	県7
7,910,024	28.4%	0	5,180,000	7,910,024	0	0	1,942,000	1,942,000	4,026,000	7,910,000	県8
4,741,484	36.4%	0	3,297,000	4,741,484	0	0	1,236,000	1,236,000	2,269,000	4,741,000	県9
7,651,098	32.6%	0	6,351,000	7,651,098	0	0	2,381,000	2,381,000	2,889,000	7,651,000	
7,311,516	32.8%	0	8,335,000	7,311,516	0	0	2,500,000	2,500,000	2,311,000	7,311,000	
79,138,791	41.5%	0	73,097,000	72,687,166	0	0	25,491,000	25,491,000	17,875,000	68,857,000	

経常欠損	収支率	国庫補助対象経費	県単補助対象経費	市単補助対象経費	国庫補助金 ① 国→事業者	県補助金 ② 県→事業者	県補助金 ③ 県→市→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ③+④	系統番号
4,767,454	20.5%	0	0	4,325,051	0	0	0	0	4,325,000	4,325,000	市1
5,314,904	20.2%	0	0	4,823,684	0	0	0	0	4,823,000	4,823,000	市2
3,329,290	18.3%	0	0	3,028,615	0	0	0	0	3,028,000	3,028,000	市3
485,626	37.1%	0	0	428,599	0	0	0	0	428,000	428,000	市4
16,655,856	24.7%	0	0	15,023,527	0	0	0	0	15,023,000	15,023,000	市5
6,561,378	18.6%	0	0	6,561,378	0	0	0	0	6,561,000	6,561,000	市6
8,117,289	19.2%	0	0	8,117,289	0	0	0	0	8,117,000	8,117,000	市7
17,148,374	23.5%	0	0	17,148,374	0	0	0	0	17,148,000	17,148,000	市8
6,952,358	13.8%	0	0	6,952,358	0	0	0	0	6,952,000	6,952,000	市9
4,556,748	12.1%	0	0	4,556,748	0	0	0	0	2,577,000	2,577,000	市10
4,070,697	16.4%	0	0	4,070,697	0	0	0	0	4,070,000	4,070,000	市11
2,608,845	18.1%	0	0	2,608,845	0	0	0	0	2,574,000	2,574,000	市12
5,627,186	7.4%	0	0	5,627,186	0	0	0	0	5,627,000	5,627,000	市13
2,867,244	9.7%	0	0	2,867,244	0	0	0	0	2,867,000	2,867,000	市14
2,929,868	1.0%	0	0	2,929,868	0	0	0	0	2,929,000	2,929,000	市15
7,423,691	12.3%	0	0	7,423,691	0	0	0	0	7,423,000	7,423,000	市16
7,407	59.3%	0	0	7,407	0	0	0	0	7,000	7,000	市17
7,217,391	3.1%	0	0	7,217,391	0	0	0	0	7,217,000	7,217,000	市18
3,390,789	6.0%	0	0	3,390,789	0	0	0	0	3,390,000	3,390,000	市19
5,558,610	30.7%	0	0	4,966,485	0	0	0	0	4,966,000	4,966,000	市20
7,034,818	30.5%	0	0	7,034,818	0	0	0	0	7,034,000	7,034,000	市21
10,112,411	8.2%	0	0	10,112,411	0	0	0	0	10,112,000	10,112,000	市22
7,785,549	18.7%	0	0	7,785,549	0	0	0	0	3,516,000	3,516,000	市23
3,439,104	5.1%	0	0	3,439,104	0	0	0	0	3,439,000	3,439,000	市24
15,746,240	19.3%	0	0	15,746,240	0	0	0	0	15,746,000	15,746,000	市25
1,327,418	15.0%	0	0	1,327,418	0	0	0	0	1,327,000	1,327,000	市26
2,754,436	3.9%	0	0	1,024,000	0	0	0	0	715,000	715,000	市27
1,133,413	14.7%	0	0	667,000	0	0	0	0	323,000	323,000	市28
10,091,365	11.0%	0	0	9,254,983	0	0	0	0	9,254,000	9,254,000	市29
6,270,322	24.6%	0	0	5,656,574	0	0	0	0	5,656,000	5,656,000	市30
5,065,320	22.3%	0	0	3,961,733	0	0	0	0	3,961,000	3,961,000	市31
9,636,674	10.2%	0	0	9,636,674	0	0	0	0	9,636,000	9,636,000	市32
6,810,457	19.0%	0	0	6,810,457	0	0	0	0	6,810,000	6,810,000	市33
9,770,718	20.2%	0	0	9,770,718	0	0	0	0	9,770,000	9,770,000	市34
6,477,138	35.7%	0	0	5,734,191	0	0	0	0	5,734,000	5,734,000	市35
5,477,991	21.7%	0	0	5,477,991	0	0	0	0	5,477,000	5,477,000	市36
2,634,372	37.2%	0	0	2,634,372	0	0	0	0	2,634,000	2,634,000	市37
6,189,345	8.6%	0	0	6,189,345	0	0	0	0	6,189,000	6,189,000	
5,123,601	28.9%	0	0	5,123,601	0	0	0	0	5,123,000	5,123,000	
2,005,150	10.0%	0	0	2,005,150	0	0	0	0	2,005,000	2,005,000	
2,803,000	18.3%	0	0	2,803,000	0	0	0	0	2,803,000	2,803,000	
1,647,273	15.8%	0	0	1,647,273	0	0	0	0	1,647,000	1,647,000	
751,502	15.8%	0	0	751,502	0	0	0	0	751,000	751,000	
3,269,095	14.2%	0	0	3,269,095	0	0	0	0	3,269,000	3,269,000	
1,323,484	64.0%	0	0	1,323,484	0	0	0	0	1,323,000	1,323,000	
1,773,000	15.5%	0	0	1,773,000	0	0	0	0	1,773,000	1,773,000	
2,315,366	15.1%	0	0	2,315,366	0	0	0	0	2,315,000	2,315,000	
254,359,567	19.1%	0	0	245,350,275	0	0	0	0	238,394,000	238,394,000	

経常欠損	収支率	国庫補助対象経費	県単補助対象経費	市単補助対象経費	国・県補助金①+② 国・県→事業者	県補助金 ③ 県→市→事業者	市補助金 ④ 国・県制度による補助	市補助金 ④ 市独自補助	市補助金 ③+④	
505,614,337	26.9%	114,208,000	73,097,000	477,968,825	77,206,000	25,491,000	52,274,000	308,460,000	386,225,000	

提　出　課	企画政策課

歳出科目（P138～P139）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
定住促進奨学金貸付事業	1,646	8	1,638

主な財源		主な経費	
一般財源	1,646	需用費	10
		役務費	3
		繰出金	1,633

【目的】

本市に居住し市外の大学等に通学する学生に対し奨学金（通学費）を貸し付け、卒業後の地元就職に対するインセンティブを設けることで将来にわたる定住を促す。

【2年度目標】

令和2年度からの制度改正の内容について周知を図り、奨学金を必要とする人に適切に貸付けを行う。

【実施内容】

[充]奨学金の利用実態等を踏まえた上で制度の見直しを行うこととし、貸付限度額を引き上げるとともに、返還期間を延長して返還時の負担を軽減する。

・基金の適正な運用を図り、貸付・返還業務を行う。
・開始年度：平成28年度
・基金総額：2億円
・対 象 者：次の要件のいずれにも該当する者
　①上越市に居住する30歳未満の者
　②大学、大学院、高等専門学校（専攻科を含む）及び専修学校（専門課程に限る）に在学する者
　③主として公共交通機関（鉄道、路線バス等）を利用し、通学している者
・貸 付 額：定期代の合計額の範囲内で、月額6万円まで
・貸付期間：貸付決定の月から学校の最短修業年限の終期までの間で申込者が希望する期間
・返　　還：貸付けが終了した月の翌月から起算して、6月を経過した後、4年以上16年（貸付期間の4倍）以内の期間内に返還
・利　　子：無利子
・返還免除：返還期間中に本市に居住し、事業所等に就業している場合は、奨学金返還額の3分の2に相当する額を免除

〈利用状況の推移〉 （単位：人、千円）

年度	貸付		返還		免除		貸付残高
	人数	金額	人数	金額	人数	金額	
H28 年度	20	4,104	－	－	－	－	4,104
H29 年度	21 (12)	4,773	8	77	(7)	77	8,723
H30 年度	29 (16)	6,267	16	297	(12)	257	14,436
R 元年度見込	31 (11)	6,837	25	669	(21)	743	19,861
R2 年度予算	33 (14)	8,764	39	1,204	(34)	1,633	25,788

※貸付人数の（　）内は新規貸付分、免除人数の（　）内は返還人数の内書き。

■令和元年度末利用状況（見込）

・学校種別 （単位：人）

4 年制大学（13）		短期大学（4）		高等専門学校（2）		専修学校（39）	
県内	県外	県内	県外	県内	県外	県内	県外
8	5	1	3	1	1	29	10

・通学先の市町村 （単位：人）

県内（39）				県外（19）				
新潟市	長岡市	柏崎市	加茂市	長野市	上田市	高崎市	富山市	射水市
2	29	7	1	11	3	1	3	1

・通学方法（主な交通手段） （単位：人）

新幹線	在来線	高速バス
15	42	1

・定期券代（月額） （単位：人）

2 万円以下	2～4 万円	4～5 万円	5～6 万円	6～7 万円	7～8 万円	8 万円超
30	13	3	5	2	2	3

提　出　課	文化振興課

歳出科目（P138～P139）	2款1項7目	企画費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
ライオン像のある館管理運営費	2,324	3,374	△1,050

主な財源		主な経費	
一般財源 2,324		需用費 442	使用料及び賃借料 85
		役務費 36	
		委託料 1,761	

【目的】

直江津の近代史を今に伝える貴重な建物を適切に維持管理するとともに、地域の賑わい創出のため、施設の利用促進を図る。

【2年度目標】

入館者数　7,000人

【実施内容】

(1) 施設の活用と直江津の歴史・文化の紹介

市民や当市を訪れた人が気軽に立ち寄れる施設として、直江津の歴史や文化を紹介するパネルを展示するとともに、周辺の観光に関する情報を提供する。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

演奏会や作品展等が開催できる本館ホールの利用促進を図るほか、北前船関連の歴史的資産を巡るまち歩き等での活用を図る。

【施設の概要】

・所在地　中央3丁目7番31号
・構造等　木造平屋建一部2階建　延床面積187.77㎡
・開館時間　午前10時～午後5時
（ホールを占用利用する場合は、午前9時～午後10時）
・開館日　4月～11月 … 土・日曜日及び休日
※臨時開館（予定）
7/27～8/28の平日
12月～翌年3月の三・八朝市が開催される土・日曜日及び休日
平日の見学・利用は、事前連絡を受け対応
・入館料　無料

歳出科目（P142～P143）	2款1項14目	上越文化会館運営費

単位：千円

事　　業　　名	本年度	前年度	比　較
上越文化会館管理運営費	484,136	81,547	402,589

主な財源			主な経費			
諸収入	600		報償費	39	委託料	55,042
市債	389,600		旅費	2	工事請負費	427,999
一般財源	93,936		需用費	454	負担金補助及び交付金	600

【目的】

指定管理者と連携しながら、気軽に文化・芸術に触れる機会や文化活動の発表の場を市民へ提供し、文化・芸術への関心を高めるとともに、主体的な文化・芸術活動を育むことで、文化の向上を図る。

【2年度目標】

外壁改修工事や大ホール舞台機構設備改修工事等を適切に実施し、安全で利用しやすい環境を整える。

【実施内容】

(1) 指定管理者への管理委託　49,304
- 指定管理委託料
  （指定管理期間：令和2年4月から令和7年3月まで）

(2) 施設管理の業務委託　755
- 建築物定期点検委託料

[充](3) 施設の整備工事　432,982
- 外壁改修工事（302,225）
- 大ホール舞台機構設備改修工事（130,240）
- 1階男子トイレ小便器改修工事（517）

(4) 施設の修繕　454
- 緊急又は早期に対応が必要な修繕

(5) 会議の開催　41
- 指定管理者選定委員会の開催（指定管理者の実施状況の確認及び評価）

(6) 地域の文化・芸術活動支援事業助成金の活用　600
- 一般財団法人地域創造の地域の文化・芸術活動支援事業助成金を活用し、第2回上越市民演劇祭を実施する。

(7) 芸術文化事業の計画

・各年代の市民に対応した多彩なジャンルの公演等を実施する。

区　分	事業内容（予定）
鑑賞事業 （4 事業）	クラシック（1 事業） 上越真冬の音楽会
	ミュージカル（1 事業） 劇団四季公演
	落語（1 事業） 林家正蔵独演会
	ポップス（1 事業） Ｎｅｇｉｃｃｏコンサート
普及事業 （8 事業）	アウトリーチ（8 事業） 三味線と瞽女唄、打楽器アンサンブル、ポルトガルギター&マンドリン、リコーダーとリュート、クリスタルボウル、ヴァイオリンＤＵＯ、落語、和太鼓
創造事業 （3 事業）	小川未明フェスティバル
	第 2 回上越市民演劇祭
	第 3 回上越マーチングバンドコンサート
育成事業 （2 事業）	上越マーチングバンド育成事業
	演劇・合唱ワークショップ

※鑑賞事業：単独又はテレビ局等の共催相手と共同で招へいする事業

※普及事業：町内会又は小・中学校へ出張して行う事業

※創造事業：新たな文化・芸術活動を創り出す市民参加型の事業

※育成事業：文化・芸術のワークショップなど、市民の文化意識の向上を図る事業

(8) 改修工事に伴う施設の休館

・休館の開始

令和 2 年 4 月 1 日（水）から

・貸館の再開

令和 2 年 11 月 14 日（土）から

※令和 2 年 11 月 14 日（土）から 12 月 13 日（日）までは、土・日曜日のみの利用

※12 月 14 日（月）から通常開館

【施設の概要】

・所 在 地　新光町 1 丁目 9 番 10 号

・構 造 等　鉄筋コンクリート造 4 階建　延床面積 6,638 ㎡

・各室名称　大ホール(1,504 人収容)、中ホール(170 人収容)、大・中・小会議室、和室

・開館時間　午前 9 時～午後 10 時

・休 館 日　毎月第 3 月曜日、12/29～1/3

歳出科目（P146～P147）	2款1項21目	文化振興費

単位：千円

事　　業　　名	本年度	前年度	比　較
旧師団長官舎管理運営費	84,598	13,944	70,654

主な財源		主な経費			
国庫支出金	41,281		需用費	919	使用料及び賃借料	18
市債	35,200		役務費	18	工事請負費	73,601
一般財源	8,117		委託料	8,488	備品購入費	1,554

【目的】

市内に残る明治期の貴重な洋風の建築物として適切に保存するとともに、更なる活用に向けた取組を通して、地域の賑わい創出及び文化の振興を図る。

【2年度目標】

建物改修工事等を適切に実施し、街なかの回遊性の向上と賑わいの創出につながる環境を整える。

【実施内容】

[充](1)　民間事業者によるレストランとしての活用
建物の供用開始に向け、利活用事業者と連携しながら準備を進める。

[充](2)　建物改修工事等
市指定文化財の保存と更なる活用に向け、建物改修工事等を行う。

【施設の概要】

・所 在 地　　大町2丁目3番30号
・構 造 等　　木造2階建一部平屋建　延床面積429.39㎡
・開館時間　　午前9時～午後4時30分
・休 館 日　　毎週月曜日、休日の翌日、12/29～1/3
　　（ただし、建物改修工事等のため、令和2年6月から休館）
・入 館 料　　無料

歳出科目（P146～P147）	2款1項21目	文化振興費

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
文化振興企画費	3,202	24,246	△21,044

主な財源		主な経費			
一般財源	3,202		報酬	1,331	需用費 759
			共済費	223	役務費 73
			旅費	109	使用料及び賃借料 560

当市の文化振興に資するため、市民が気軽に文化・芸術に親しめる環境づくりを進めるとともに、市民参加が可能な文化事業の充実を図る。

○市民の文化活動推進事業　2,874

【目的】

市民団体との連携や活動に対する支援を通して、市民の自主的な文化活動の推進を図る。

【2年度目標】

文化振興に関する情報提供や次世代への継承を中心とした文化事業を行い、文化・芸術活動への関心を高め、自主的な活動につなげる。

【実施内容】

(1) 文化振興に関する情報の収集及び提供

市民が自主的に文化・芸術活動に取り組むため、県文化振興財団などの助成事業の情報提供を行う。

(2) 能・狂言鑑賞教室

市民団体が主催する「久比岐能」公演と連携した「能・狂言鑑賞教室」を開催し、中学生が日本の伝統文化に触れる機会を提供する。

○地域の歴史的・文化的資源の保存と継承　328

【目的】

地域の歴史的・文化的資源の保存と継承を図る。

【2年度目標】

市民団体と連携し、地域の歴史的・文化的資源を広く発信する。

【実施内容】

[充]高田瞽女顕彰事業

映画「瞽女ＧＯＺＥ」の上映時期に合わせ、市民団体と連携して展覧会や瞽女唄演奏会などを開催し、瞽女の歴史や文化を紹介する。

※令和2年度のうち、偉人顕彰に係る経費は10款5項6目の歴史文化推進費（文化行政課所管）へ移行

歳出科目（P146～P149）	2款1項21目	文化振興費

単位：千円

事　　業　　名	本年度	前年度	比　較
坂口記念館管理運営費	7,836	7,663	173

主な財源			主な経費			
使用料及び手数料	815		需用費	1,830	使用料及び賃借料	263
諸収入	88		役務費	138		
一般財源	6,933		委託料	5,605		

【目的】

坂口記念館の適切な維持管理を行うとともに、文化勲章受章者で応用微生物学の世界的権威である坂口謹一郎博士を顕彰し、教育、学術及び文化の振興を図る。

【2年度目標】

入館者数　5,200人

【実施内容】

(1) 坂口謹一郎博士の顕彰

所蔵資料を活用し、展示や映像などで坂口謹一郎博士の業績や人物像を紹介する。

また、博士の生誕日(11月17日)を含めた3日間を入館無料デーとするほか、坂口謹一郎博士顕彰委員会と連携し、博士の人となりや業績を紹介する事業を実施する。

(2) 定期的な事業の開催

博士が収集した雪椿の開花時期にあわせ、「坂口謹一郎博士と酒とつばきの祭典」を開催するほか、冬期間には雛人形を展示する「ひなまつり」を開催する。

(3) 集会、文化活動等の場の提供

市民等の集会や文化活動などの場として貸館を行うほか、市民団体等と連携し、施設を活用したイベント等を開催する。

【施設の概要】

・所在地　頸城区鵜ノ木148番地

・構造等　酒杜り館：木造2階建　延床面積　489㎡
　楽縫庵：木造2階建　延床面積　255㎡
　留春亭：木造平屋建　延床面積　20㎡
　雪椿園：敷地面積　約1,500㎡

・開館時間　午前10時～午後4時
　(楽縫庵を利用する場合は、午前10時～午後9時)

・休館日　毎週月曜日、休日の翌日、12/28～1/4
　上記のほか、冬期間については、土・日曜日、休日のみを開館日とする。

・入館料　一般：310円、中学生以下：無料
　(ただし、楽縫庵を利用する場合は使用料が必要)

歳出科目（P148～P149）	2款1項21目	文化振興費

単位：千円

事　　業　　名	本年度	前年度	比　較
小川未明文学館管理運営費	9,332	10,093	△761

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	497	報酬	2,660
諸収入	45	報償費	575
一般財源	8,790	旅費	528
		需用費	868
		負担金補助及び交付金	3,938

未明文学の紹介と関係資料の展示、各種講座等やおはなし会の開催を通じて、小川未明の業績やその作品を広く紹介し、教育、学術及び文化の振興を図る。

小川未明文学賞を開催することにより、次代を担う子どもたちの感性や想像力、郷土に対する愛着心や誇りを育む。

○展覧会・講座等の企画運営　　1,794

【目的】

小川未明に関わる資料等の公開や各種講座を開催するなど、市民に未明とその作品に対する理解を深める機会を提供することにより、市民の文学への関心を高める。

おはなし会の開催を通して子どもたちに分かりやすく未明作品を紹介することで、豊かな心を育む。

【2年度目標】

各種講座の受講者の満足度　　90.0%

※受講者へのアンケートで「大変良い」「良い」「どちらとも言えない」「良くない」「非常に良くない」の評価項目のうち、「大変良い」「良い」と評価した人の割合

【実施内容】

(1) 特別展の開催

・展覧会名：古志野実が描く未明童話絵本原画展（仮称）
・会　　期：10月～11月
・内　　容：絵本3作品の原画を展示し、未明童話に親しんでもらう。
・入 館 料：無料

(2) 各種講座等の開催

文学館講座、童話創作講座、朗読研修会を開催する。

(3) おはなし会の開催

未明作品をより身近に親しんでもらうため、文学館でのおはなし会のほか、小学校、放課後児童クラブ等に朗読ボランティアが出向いて、おはなし会を開催する。

(4) 子ども向け事業の開催

文学館や未明作品に親しんでもらうため、こども祭を開催するとともに、未明童話を月替わりで収録した冊子を無償配布する。

(5) 文学館資料の収集・調査及び活用

自筆資料、初版本、近代文学・児童文学に関する資料・図書等の収集及び調査を行うほか、文学館の所蔵資料を活用した展示を行う。

○文学館の管理運営　　3,575

【目的】

収集した資料の展示や顕彰の取組を通して、文学館への市民の関心を高めるとともに、郷土が生んだ“日本児童文学の父”小川未明を市内外に発信する。

【2年度目標】

入館者数　　30,000人

【実施内容】

(1) 館報の刊行

文学館の事業報告、事業計画及びボランティア活動の報告等をまとめた館報を刊行し、市民へ紹介する（発行部数：1,000部）。

(2) 文学館専門指導員の設置

文学館の運営や資料収集の助言及び調査・研究等について、専門的見地から指導を受けるため、引き続き指導員を設置する。

(3) 市民ギャラリーの貸室

市民の文化活動の推進のため、市民ギャラリーの貸室を行う。

○小川未明文学賞の開催　　3,963

【目的】

小川未明文学賞の作品を公募し、小川未明の文学精神である「人間愛と正義感」を継承する優秀な創作児童文学作品を送り出すことにより、子どもたちの心に夢と希望を育むほか、市内外に向けて未明及び当市の情報を発信する。

【2年度目標】

小川未明文学賞応募数　　500編

【実施内容】

小川未明文学賞委員会へ交付金を交付し、第29回小川未明文学賞の作品募集・審査及び贈呈式を実施する（令和2年度の贈呈式は、上越市で開催）。

【施設の概要】

・所 在 地　　本城町8番30号
・構 造 等　　高田図書館内に併設（鉄骨造、延床面積460㎡）
・開館時間　　4月～5月、10月～3月の平日：午前10時～午後7時
　　6月～9月の平日：午前10時～午後8時
　　土・日曜日、休日：午前10時～午後6時（以上、高田図書館に準ずる。）
・休 館 日　　毎週月曜日、休日の翌日、12/29～1/3、毎月第3木曜日、資料整理期間（以上、高田図書館に準ずる。）
・入 館 料　　無料（ただし、市民ギャラリーは使用料が必要）

歳出科目（P148～P149）	2款1項21目	文化振興費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
高田まちかど交流館管理運営費	7,804	8,227	△423

主な財源		主な経費	
使用料及び手数料	310	需用費	2,300
一般財源	7,494	役務費	371
		委託料	3,236
		使用料及び賃借料	1,765
		負担金補助及び交付金	132

【目的】

昭和の高田界隈の歴史を感じることができる施設として適切に維持管理するとともに、地域の賑わい創出のため、施設の利用促進を図る。

【2年度目標】

入館者数　26,000人

【実施内容】

(1) 街なか回遊の拠点としての活用

・建物の歴史や高田界隈の歴史・文化を紹介するパネルを展示するほか、商店街の催しや観光スポットなどに関する情報を提供する。

・買い物客や観光客などの立ち寄り処として、憩いのスペースを提供する。

(2) イベント、文化活動などの場の提供

1階ホールを貸し出し、商店街のイベントや音楽の発表会など、文化団体等の活動の場としての活用を図る。

(3) 「高田まちかどフェスティバル」の開催

市民の文化活動の促進や街なかの賑わい創出を図るため、音楽活動を行う市民や団体とともに、音楽イベントを開催する。

【施設の概要】

・所在地　本町3丁目3番2号

・構造等　鉄筋コンクリート造3階建　延床面積1,834.35㎡

・開館時間　午前9時～午後6時
（ホールを占用利用する場合は、午前9時～午後10時）

・休館日　毎月第2水曜日、12/29～1/3

・入館料　無料（ただし、ホールを占用利用する場合は、使用料が必要）

歳出科目（P148～P149）	2款1項21目	文化振興費

単位：千円

事業名	本年度	前年度	比較
ミュゼ雪小町管理運営費	16,093	15,777	316

主な財源				主な経費			
使用料及び手数料	2,694	一般財源	13,357	報酬	219	使用料及び賃借料	413
財産収入	25			需用費	259	負担金補助及び交付金	6,127
諸収入	17			委託料	8,940		

【目的】

芸術活動及び文化交流の場を提供することにより、市民による芸術文化の振興を図り、賑わいと活力ある地域社会の形成に資する。

【2年度目標】

入館者数　56,000人

【実施内容】

(1) 芸術文化活動などの場の提供

美術館的仕様のギャラリーや、創作活動、集会機能を持つ多目的室の貸室を行い、市民の芸術文化活動とその成果発表及び文化交流の拠点としての場を提供する。

(2) 企画展などの開催

高田瞽女を顕彰する企画展を開催するほか、様々なイベントの会場として貸室を行い、市内外からの集客を図る。

【施設の概要】

・所在地　本町5丁目4番5号　あすとぴあ高田5階
・構造等　鉄筋コンクリート造一部鉄骨鉄筋コンクリート造及び鉄骨造
　専有床面積983.20㎡
・開館時間　午前9時～午後10時
・休館日　毎月第3月曜日、12/29～1/3
・入館料　無料（ただし、ギャラリー、多目的室は使用料が必要）

提　出　課	上越市創造行政研究所

歳出科目（P150～P151）	2款1項23目	政策研究所費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
調査・研究費	7,305	8,526	△1,221

主な財源		主な経費			
一般財源	7,305		報酬	3,124	旅費	2,399
			共済費	287	需用費	543
			報償費	544	役務費	216

地方自治体としての政策形成能力の向上に貢献するため、総合的・中長期的・広域的な視点から、市政における重要課題の解決や理想像の構築に寄与する調査研究等を推進し、地域の実態に即した実効性の高い研究成果の提供や研究ネットワークの構築を行う。

【目的】

調査研究等を通じて市政における重要課題の解決や理想像の構築に寄与し、地方自治体としての政策形成能力の向上を図る。

【2年度目標】

・これまでの調査研究において蓄積してきた人口等の統計データや地域資源情報など、政策形成に必要とされる基礎データについて、調査研究事業の基礎資料として継続的な維持・更新及び活用を行う。
・庁内の総合的かつ中長期的な視点に基づく政策立案を支援するため、庁内関係課と連携した調査研究を行う。
・地域全体の政策形成能力向上のため、地域の有識者や研究機関との研究ネットワークを構築するとともに、研究成果を用いて地域へ直接的に働きかける研究交流を推進する。

【実施内容】

(1) 調査研究　＜主なテーマ（予定）＞
　・国際化の在り方に関する調査研究
　・学校教育支援に資する地域学習プラットフォームの構築
　・地域学習に資するデータベースの更新
(2) 研究交流、情報発信
　・市民向けセミナーや信越県境地域づくり交流会等の開催
　・ニュースレターの発行　など

提　出　課	交通政策課

歳出科目（P156～P157）	2款1項29目	鉄道駅舎等管理費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
鉄道駅舎等管理運営費	7,661	7,776	△115

主な財源		主な経費			
財産収入	236		報酬	14	役務費	79
諸収入	123		報償費	255	委託料	4,272
一般財源	7,302		需用費	2,980	使用料及び賃借料	60

【目的】

市が所有するほくほく線及び信越本線の駅待合所等関連施設の適切な維持管理等を通じ、鉄道利用者の安全確保及び利便性向上を図る。

【実施内容】

駅待合所等関連施設の清掃、周辺の草刈り及び修繕等の維持管理

路線名	区　名	駅　名	予算額	主な内容
ほくほく線	浦川原区	うらがわら駅	3,556	清掃、エレベーター保守、樹木管理等
		虫川大杉駅		清掃、浄化槽管理、芝管理、樹木管理等
	大島区	ほくほく大島駅	1,973	清掃、浄化槽管理、屋上除雪、自動ドア・エレベーター保守、草刈り等
	頸城区	くびき駅	1,586	清掃、自動ドア保守、樹木管理等
		大池いこいの森駅		清掃、浄化槽管理、樹木管理等
信越本線	大潟区	犀潟駅	546	清掃、浄化槽管理等 ＊待合所はＪＲ管理
		土底浜駅		清掃、浄化槽管理等 ＊待合所はＪＲ管理

提　出　課	企画政策課

歳出科目（P166～P167）	2款5項1目	統計調査総務費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
統計調査総務費	1,801	1,920	△119

主な財源		主な経費			
一般財源	1,801		報酬	1,077	旅費	102
			職員手当等	46	役務費	168
			共済費	200	使用料及び賃借料	202

【目的】

誰もが必要な統計情報が得られる環境を整備する。

【2年度目標】

統計要覧の発行を始め、最新の各種統計情報を市民等の利用者に分かりやすく、かつ、利用しやすく提供する。

【実施内容】

・行政施策等の基礎資料として最新データを収集し、上越市統計要覧を発行する。
・国の統計調査結果から抽出した当市に関するデータをホームページに速やかに掲載する。

歳出科目（P166～P169）	2款5項2目	統計調査費

単位：千円

事　業　名	本年度	前年度	比　較
工業統計調査費ほか	79,120	30,048	49,072

主な財源		主な経費			
県支出金	79,120	報酬	72,322	需用費	735
		共済費	968	役務費	1,326
		旅費	726	委託料	2,646

○各種統計調査等　　79,050

【目的】

工業統計調査を始めとする各種統計調査を正確かつ円滑に実施する。

【2年度目標】

大正9年の第1回調査から100年の節目となる国勢調査を始め、各種統計調査を確実に実施する。

【実施内容】

調査名称等	周期	基準日	予算額
工業統計調査	毎年	6月1日	985
学校基本調査	毎年	5月1日	58
農林業センサス	5年	2月1日	56
[新]国勢調査	5年	10月1日	77,454
経済センサス調査区設定	毎年	6月1日	58
経済センサス	5年	6月1日	439

・工業統計調査
　製造業に属する事業所に対し、製造品出荷額等の生産活動に関する事項を調査する。
・学校基本調査
　児童・生徒数や教員数等の調査に関する事務を行う。
・農林業センサス
　農林業経営体を対象に令和元年度に実施した農林業センサスの審査及び集計を行う。
・国勢調査
　全世帯を対象に年齢構成や世帯構成等を調査する。
・経済センサス調査区設定
　経済センサスの調査区域を明確にするため、調査単位区の整備を行う。
・経済センサス
　令和3年度に実施する経済センサス-活動調査に向けた準備事務を行う。

○統計調査員確保対策事業　　70

【目的】

各種統計調査を円滑に行うため登録統計調査員を確保するとともに、調査員の資質向上を図る。

【2年度目標】

統計調査員の確保に向けた取組を引き続き進めるとともに、調査員の資質の向上を図るため、県の登録調査員研修への参加を促すほか、市主催による実務研修会を実施する。

【実施内容】

広報上越、ホームページ等により登録統計調査員を募集するとともに、統計業務に係る情報を統計調査員へ提供する。

〈参考〉登録統計調査員の状況（令和2年1月31日現在）

	合併前上越市	13区計	合計
登録者数	132人	57人	189人